

セキュリティカメラ / レコーダー 遠隔操作アプリ Guard Tools

【ネットワークカメラ、レコーダーを PC から制御】

(Windows10/11)

本アプリの利用には、ネットワークカメラに関する専門的な知識が必要です。
誤った設定により、正常に動作しない場合があります。

・このアプリで出来ること

- ①ネットワークカメラ、レコーダーの設定
- ② IP アドレスの確認
- ③録画可能残日数の計算

※このアプリは、弊社製のネットワークカメラ製品に対応しています。

- ・このアプリは弊社製の CNE シリーズまたは CNW3SZ11（ワイヤレス対応ネットワークカメラ 1 台セット）、CNW3CBF1、CNW3CDF1 で使用できます。
- ・この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

【対象 OS】 Microsoft Windows 10/Windows 11 (32-bit or 64-bit) 以上

【CPU】 Intel Pentium IV 3.0 GHz 以上

【メモリ】 1 GB 以上

【ディスプレイ定義】 1280*720 以上

もくじ

【オンラインでマニュアルをご覧になる方へ】 ページ番号（目次・マニュアル内で案内する参照先）をクリックすると、該当の項目に移動します。

本マニュアルについて	3	デバイスを再起動する	28
マニュアル上の表記	3	デバイスを初期化する	29
準備	4	デバイスの診断情報をエクスポートする	30
インストール	4	デバイスの設定内容をエクスポートまたはインポートする	31
Guard Tools を操作する	6	NVR 画面の使いかた	33
Guard Tools を起動する	6	ネットワークカメラをレコーダーに接続する	34
Guard Tools の言語設定	6	レコーダーからカメラを解除する	35
Guard Tools の画面構成	7	ログインしていないネットワークカメラを接続する	36
設定変更したいデバイスを選択する	8	IP アドレス情報を入力してネットワークカメラを接続する	38
デバイスにログインする	9	計算画面の使いかた	39
デバイスリストを最新の状態に更新	10	手動で映像設定の項目を入力する	40
デバイスの検索条件を設定する	11	デバイスから映像設定を参照し、表示する	41
デバイスリストの表示項目を変更する	11	映像設定を編集する	42
表示したいデバイスを絞り込む	12	映像設定を削除する	42
デバイスリストを並び換える	12	録画可能残日数を計算する	43
テキストをコピーする	13	表示言語を変更する	44
CSV ファイルに書き出す	13	英語マニュアルを表示する	45
保存した CSV ファイルを Excel で開く	14	使用するパソコンの IP アドレスを変更する	45
デバイスを動作メニューから操作する	16	バージョン情報を確認する	46
動作メニュー独自の機能項目	16	アンインストール	46
デバイス設定画面の主要機能	17	用語集	47
パスワードを変更する	18	困ったときは	48
IP アドレスを変更する	19		
名称・時刻／ネットワーク設定を変更する	21		
デバイス設定	22		
アップグレード画面の主要機能	23		
デバイスのファームウェアをダウンロードする	23		
デバイスのファームウェアを更新する	24		
メンテナンス画面の主要機能	27		

本マニュアルについて

本マニュアルは、Guard Tools2.0 を通してネットワークカメラやネットワークレコーダーを管理する方法を説明しています。

本マニュアルは、コンピューター /Microsoft Windows/Web ブラウザ /LAN などのネットワークに関する基本的な操作方法を有する方を対象としています。

マニュアル上の表記

取り扱い上の制限・注意などの説明を以下の表記で表示しています。

重要 操作上の注意事項や制限事項を記載しています。トラブルを防ぐため、必ずお読みください。



操作の参考となることや補足説明を記載しています。お読みになることをおすすめします。

用語	説明
IPC	ネットワークカメラの略
NVR	ネットワークレコーダーの略
デバイス	Guard Tools で管理するネットワークカメラやネットワークビデオレコーダーなど

■本書について

- 本書に記載されているイラスト、図、説明文は、実際の製品の外観や機能と異なる場合があります。
- 内容の正確性を期するように努めておりますが、アプリのアップデート等により生じる誤植が生じるケースがあります。弊社ではそのような誤りに責任を負いません。
- 不適切な操作によって生じる破損や損害には責任を負いませんので、予めご了承ください。
- 本マニュアル上に記載の画面は [Microsoft Windows 10][Google Chrome] の画面を使用しています。お使いのコンピューターによっては表示が異なる場合があります。

インストール

Guard Tools を使用するには、コンピューターにインストールしておく必要があります。

1 以下の URL から Guard Tools のインストーラーをダウンロードする

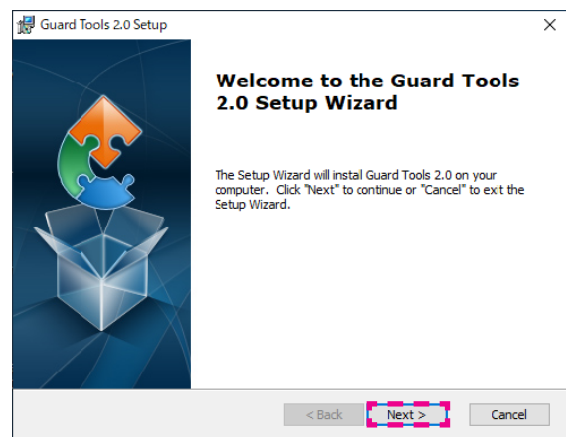
<https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?id=2691>

2 インストーラーをダブルクリックして実行する

確認画面が表示されたら、[許可] または [はい] を選択してください。



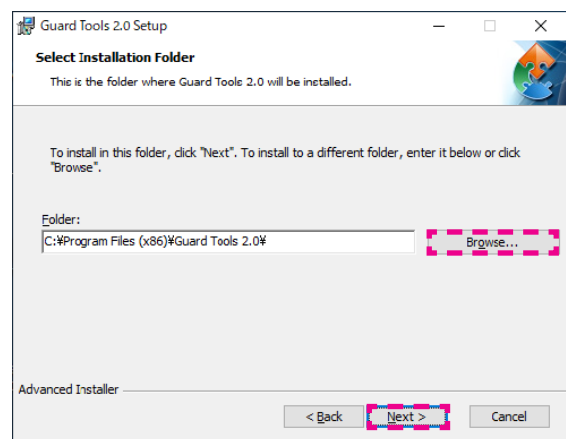
3 [Next] をクリックする



4 保存先を選択する

インストール先を変更するときは、[Browse] をクリックします。

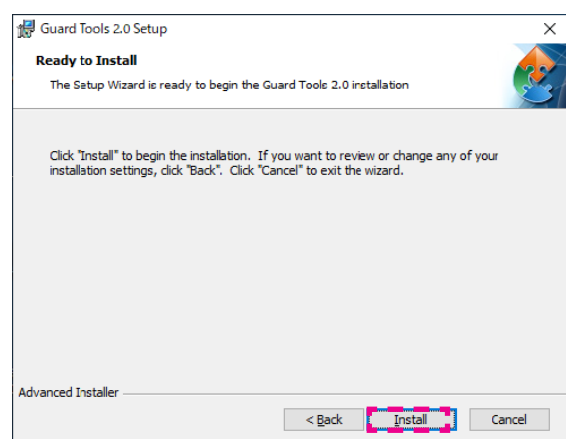
保存先を選択して、[Next] をクリックします。



5 [Install] をクリックする

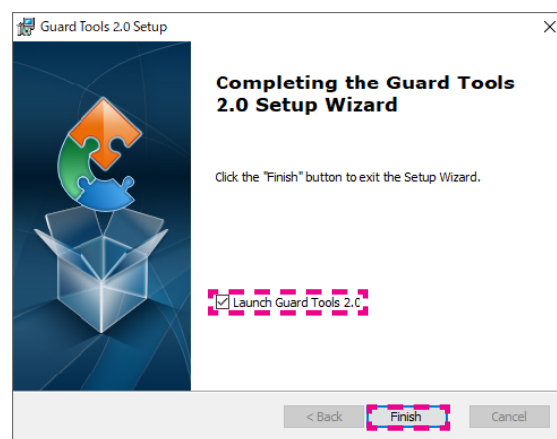
インストールが始まります。

インストールが完了するまで、そのままお待ちください。



6 [Finish] をクリックする

Guard Tools が起動します。



[Launch Guard Tools 2.0] のチェックマークを外した場合は、Guard Tools が自動起動しません。次の手順に移る前に、パソコンのスタートメニューから Guard Tools を再起動してください。

7 × をクリックして、Guard Tools を終了する

Guard Tools を操作する

Guard Tools を起動する

インストールした Guard Tools を起動してください。

確認画面が表示されたら、[許可] または [はい] を選択してください。

1 アイコンをダブルクリックする

インストールが完了すると、デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。
スタートメニューまたはショートカットアイコンから起動します。

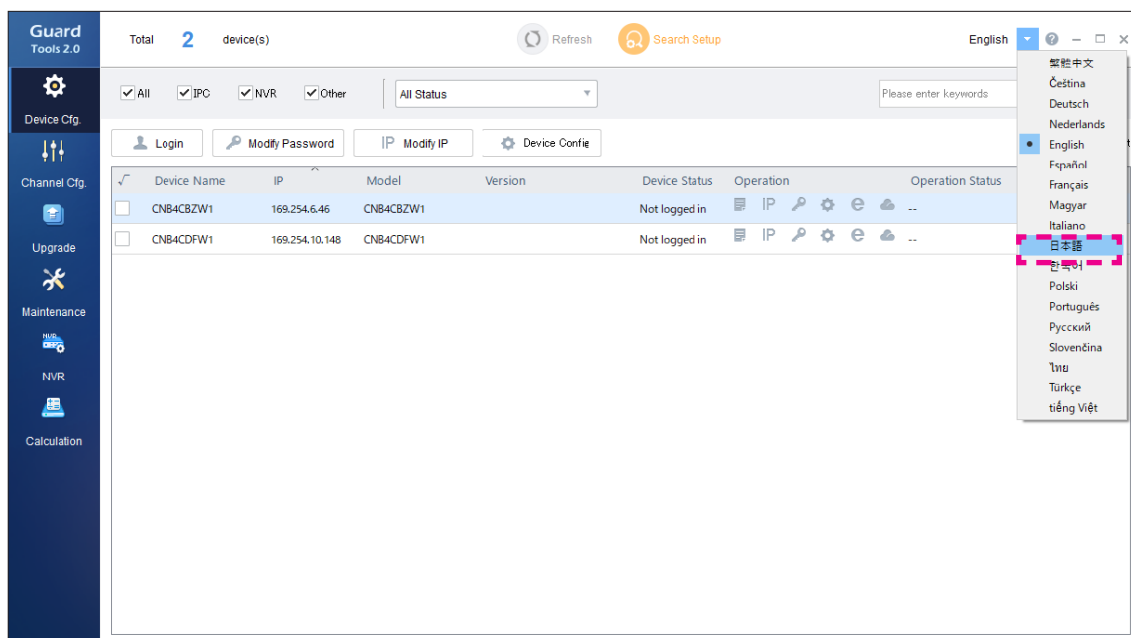


Guard Tools の言語設定

初期設定は英語表示のため、必要に応じて表示言語を変更してください。
(Guard Tools を再起動すると、選択した言語で画面が表示されます)

1 任意の言語を選択する

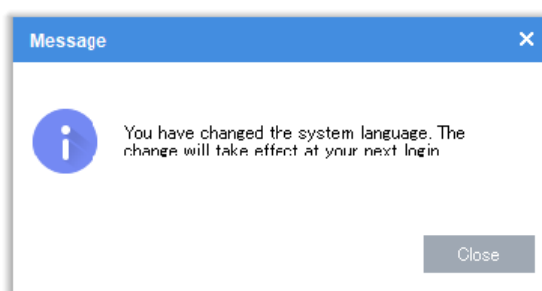
[English] の右にある [▼] をクリックします。



2 [Close] をクリックする

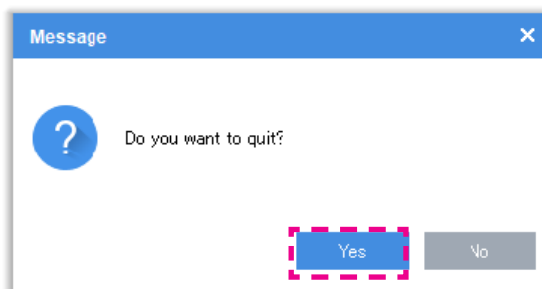
3 Guard Tools の画面右上の × をクリックする

 表示言語によっては [Close] の表示が異なります。



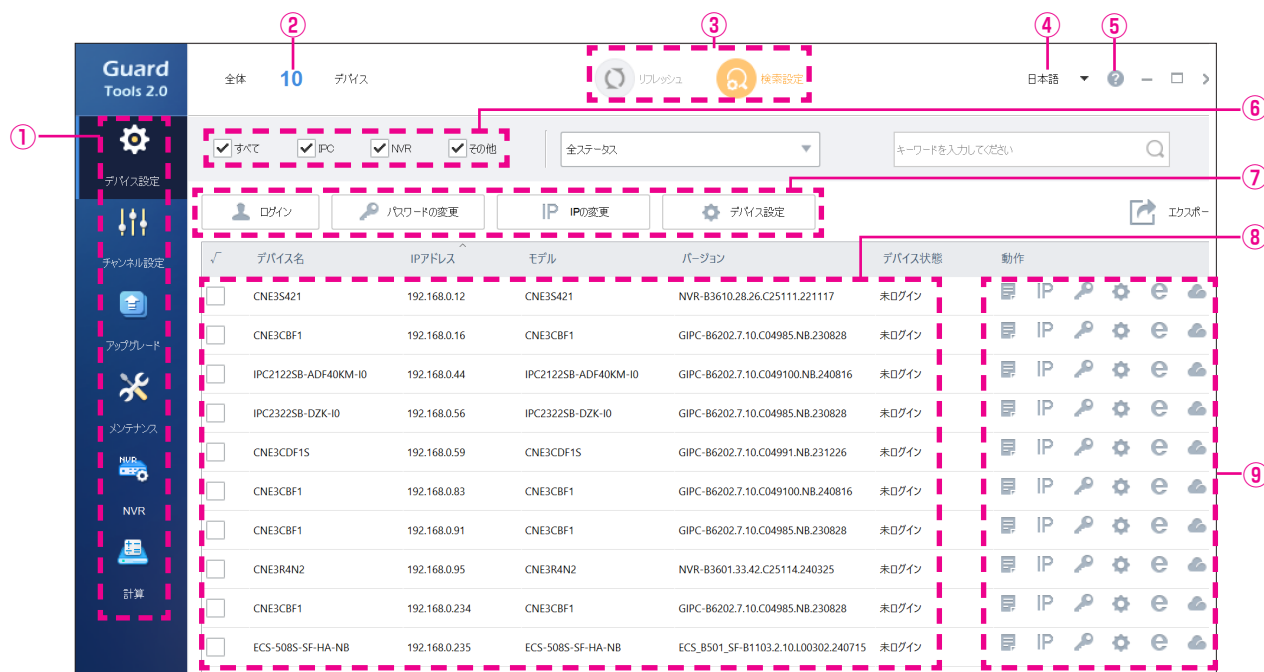
4 [Yes] をクリックする

 表示言語によっては [Yes] の表示が異なります。
次回起動時には、選択した言語で画面が表示されるようになります。



Guard Tools の画面構成

Guard Tools の画面は以下の機能で構成されています。



番号	項目	内容
①	ツール	ツールを切り替えることができます。
②	デバイス数	LAN 上で検知されたデバイス数が表示されます。
③	デバイス検索・更新	・ デバイスリストの表示を更新 ・ Guard Tools がデバイスを検索するときの条件を設定
④	表示言語設定	Guard Tools の表示言語を変更できます。
⑤	ヘルプ	・ Guard Tools の英語版ユーザーマニュアルを表示する ・ バージョン情報を確認する
⑥	デバイスフィルター	デバイスリストの表示を、デバイスの種類や状態で絞り込むことができます。
⑦	操作メニュー	(デバイスリストで選択した) デバイスを操作するためのボタンが表示されます。
⑧	デバイスリスト	LAN 上で検知されたデバイスの一覧が表形式で表示されます。
⑨	動作メニュー	デバイス単体を操作するためのボタンが表示されます。

設定変更したいデバイスを選択する

Guard Tools では、デバイス进行操作する前に単体または複数のデバイスを選択しておく必要があります。複数のデバイスを選択すると、選択したデバイスを一括で操作できるようになります。

 複数選択したデバイスの種類やモデルが異なる場合は、一括操作ができないことがあります。

1 デバイスリストで、操作したいデバイスにチェックマークを付ける

 デバイスの複数選択には、以下の方法があります。

- ① ひとつずつデバイスにチェックマークを付ける
- ② デバイスリスト左上の [✓] をクリックして、すべてのデバイスを選ぶ
- ③ <Ctrl> または <Shift> キーを押しながらクリックして、デバイスを選ぶ
- ④ 左クリックをしたままマウスをドラッグして、デバイスを選ぶ



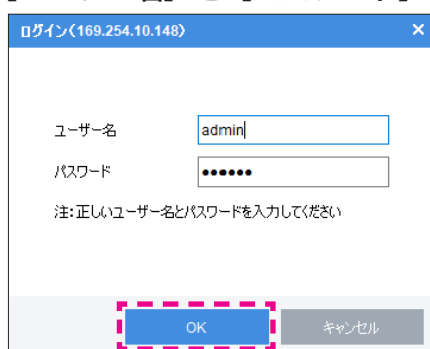
デバイスにログインする

デバイスの設定を変更するなどの操作をするには、デバイスにログインする必要があります。

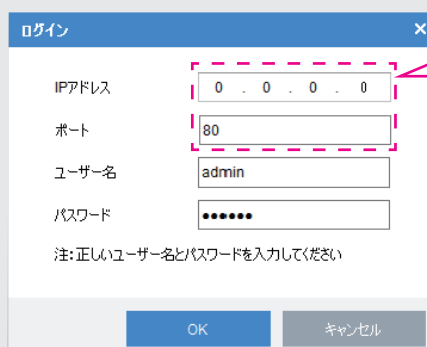
- 1 操作したいデバイスを選択する
- 2 操作メニューから【ログイン】をクリックする



- 3 【ユーザー名】と【パスワード】を入力して、【OK】をクリックする



📝 デバイスを選択せずに、【ログイン】をクリックした場合は、以下の画面が表示されます。



ログインしたいデバイスの【IPアドレス】と【ポート】を入力します。

- 4 操作結果がデバイスリストの【動作状態】に表示されるので、内容を確認する
【ログインに成功しました】と表示されている場合、正常に完了しています。



デバイスリストを最新の状態に更新

- 1 画面上の  (リフレッシュ) をクリックする
デバイスリストの情報が、最新に更新されます。



デバイスの検索条件を設定する

1 画面上の （検索設定）をクリックする



2 検索条件を設定する

① 検索モード ☒ 自動検索 ☐ 指定検索

② から まで

リスト項目

☒ バージョン ☐ MACアドレス ☐ シリアル番号 ☐ サブネットマスク

☐ ゲートウェイ ☒ デバイス状態

番号	項目	内容	
①	検索モード	デバイスの検索方法を指定します。	
		自動検索	LAN 上のデバイスを自動で検索します。
		指定検索	デバイスを検索する IP アドレスの範囲を「から」に最小値、「まで」に最大値を入力して指定します。
②	リスト項目	デバイスリストの列に表示したい項目（デバイスが持つ情報）にチェックマークを付けます。	

3 [OK] をクリックする

設定した検索条件に沿って、デバイス一覧が表示されます。

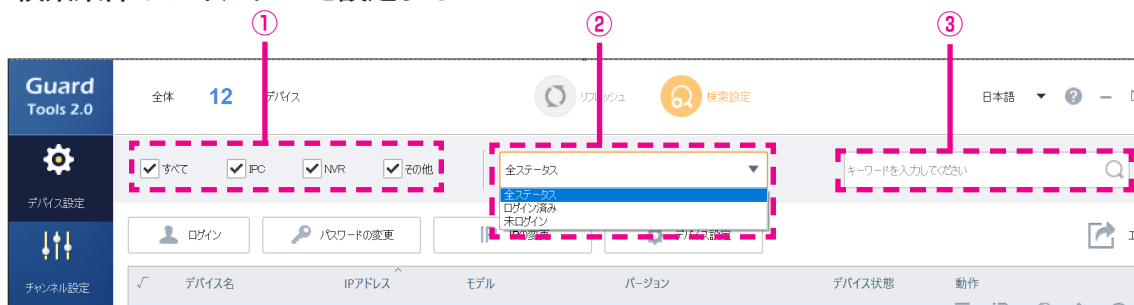
デバイスリストの表示項目を変更する

上記の「デバイスの検索条件を設定する」で、② [リスト項目] の設定をすることで表示項目を変更できます。

表示したいデバイスを絞り込む

デバイスリストの表示を絞り込むために、検索条件のフィルターを設定します。

1 検索条件のフィルターを設定する



番号	項目	内容
①	すべて /IPC/ NVR/ その他	[✓] を付けたデバイスの種類のみに絞り込みます。 ✎ [IPC]:ネットワークカメラ、[NVR]:ネットワークレコーダー
②	全ステータス / ログイン済み / 未ログイン	デバイスのログイン状態で絞り込みます。
③	キーワードを入力してください	任意の文字を入力し、デバイスリストでその文字が表示されているデバイスのみに絞り込みます。

デバイスリストを並び換える

デバイスリストを、内容毎に昇順・降順で並び換えることができます。

1 デバイスリストの列（[デバイス名] や [IP アドレス] など）をクリックする



列をクリックするたびに、列の内容で各デバイスが昇順または降順で並び替わります。

テキストをコピーする

デバイスに関するテキストを、他のファイルにコピーペーストができるようになります。

1 デバイスリストでデバイスの表示項目をクリックしてから、〈Ctrl〉 + 〈C〉 キーを押す



例：上記画面表示の場合、「CNE3S421」「192.168.0.12」などのコピーしたい文字をクリックし、〈Ctrl〉 + 〈C〉 キーを押します。

→クリップボードにテキストがコピーされ、他の文書ファイルにもペーストが出来るようになります。

CSV ファイルに書き出す

デバイス情報を CSV ファイルに書き出します。

1 操作したいデバイスを選択する

2 操作メニューから （エクスポート）をクリックする



3 保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックする

4 [閉じる] をクリックする

CSV ファイルが保存されます。

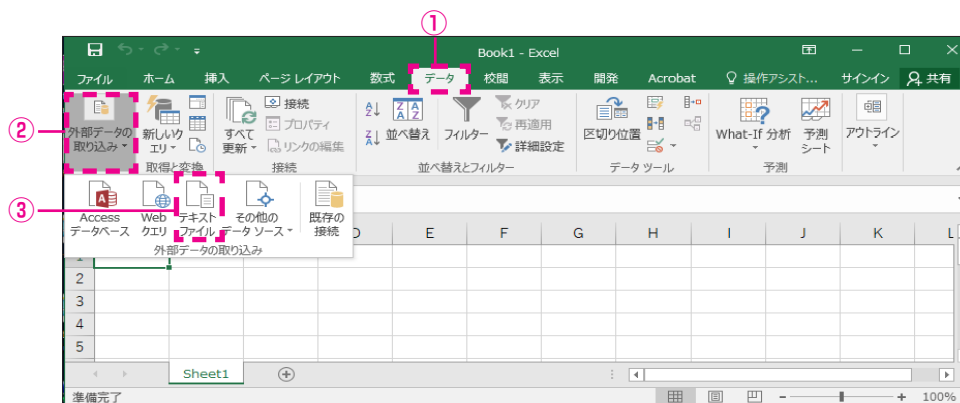


- ・【CSV ファイルは、中国語の文字コードで保存されます】 Guard Tools の表示言語を日本語などに設定している場合：英数字以外が文字化けして表示されるケースがあります。
- ・【CSV ファイルを、文字化けせずに Microsoft Excel で開くには】「保存した CSV ファイルを Excel で開く」（➡ 14 ページ）の手順をご参照ください。

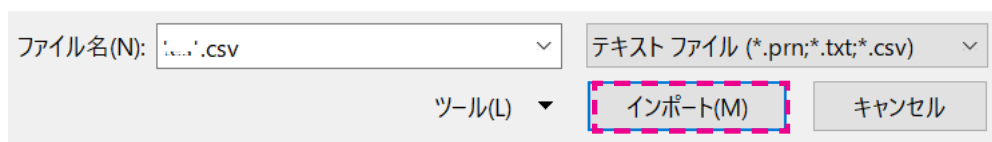
保存した CSV ファイルを Excel で開く

Microsoft Excel 2016 の画面で手順を説明します。

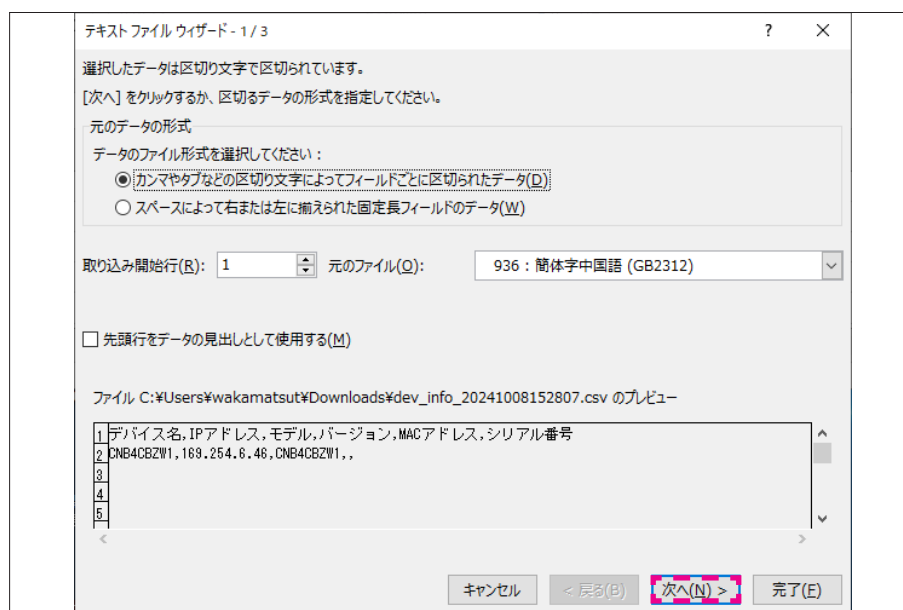
- 1 スタートメニューから Microsoft Excel を起動する
- 2 空白のブック（新規のブック）を開く
- 3 ① [データ] > ② [外部データの取り込み] > ③ [テキストファイル] を順にクリックする



- 4 CSV ファイルを指定して、[インポート] をクリックする



- 5 [次へ] をクリックする



6 [区切り文字] で [カンマ] に [✓] を付けて、[完了] をクリックする

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

☒ タブ(T)
☐ セミicolon(M)
☒ カンマ(C)
☐ スペース(S)
☐ その他(O):

☐ 連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q): "

データのプレビュー(P)

デバイス名	IP アドレス	モデル	バージョン	MAC アドレス	シリアル番号
CNB4CBZW1	169.254.6.48	CNB4CBZW1			

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

7 [OK] をクリックする

データの取り込み

このデータをブックでどのように表示するかを選択してください。

☒ テーブル(T)
☐ ピボットテーブル レポート(P)
☐ ピボットグラフ(C)
☐ 接続の作成のみ(O)

データを返す先を選択してください。

☒ 既存のワークシート(E):
=\$A\$1
☐ 新規ワークシート(N)

☐ このデータをデータ モデルに追加する(M)

プロパティ(R)... OK キャンセル

Excel に CSV ファイルの内容が表示されます。

Book1 - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 操作アシスト サインイン 共有

外部データの取り込み 新規ワークブック すべて更新 取得と変換 接続 並べ替えとフィルター 並べ替えとフィルター 詳細設定 データ ツール 区切り位置 予測 シート アウトライン

What-If 分析 予測 シート

A1 X ✓ fx

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	デバイス名	IPアドレス	モデル	バージョン	MACアドレス	シリアル番号		
2	IP-Camera	192.168.0.7	A123456					
3								
4								
5								

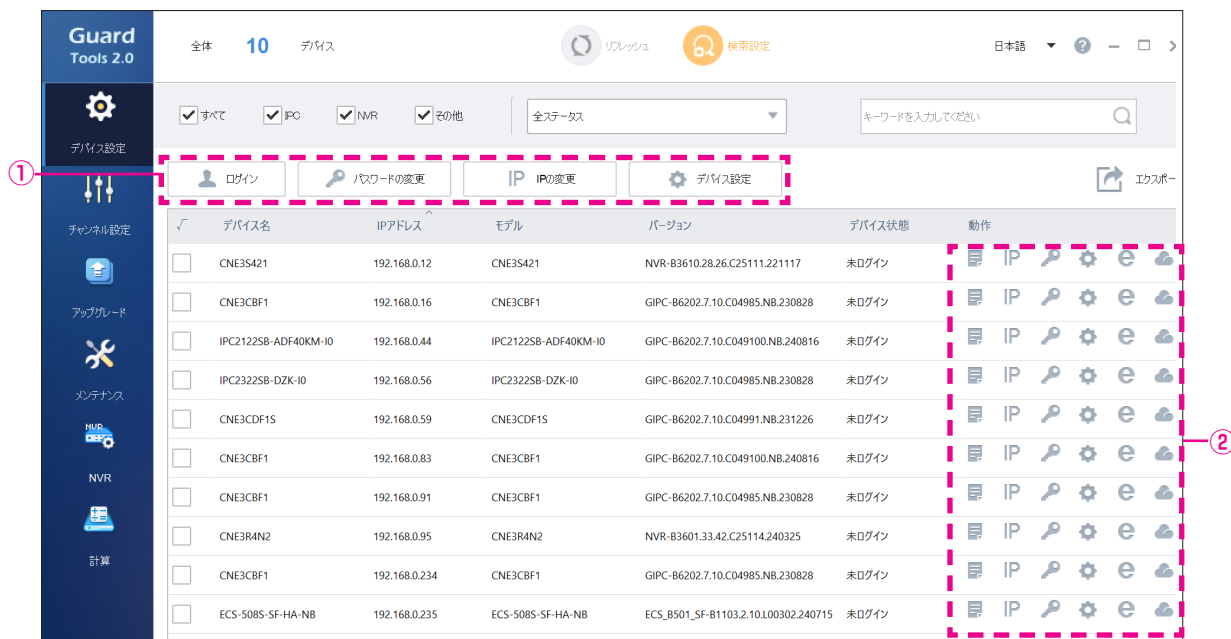
Sheet1

準備完了

デバイスを動作メニューから操作する

【Guard Tools の操作方法には、2パターンあります】

- ① 全体画面に表示される「操作」メニューを利用
 - ② デバイスリスト上の、各デバイスが持つ「動作」メニューから機能を利用
- ここではその手順を説明します。



番号	項目	内容
①	操作メニュー	(デバイスリストで選択した) デバイスを操作するためのボタンが表示されます。
②	動作メニュー	デバイス単体を操作するためのボタンが表示されます。

✎ デバイス単体の操作・設定変更は、以下のツール画面（左端の青枠画面）に限られます。

- ① デバイス設定
- ② チャンネル設定
- ③ メンテナンス

1 デバイスリストから、操作対象のデバイスを選択します。デバイスと同じ行の動作メニューから、機能項目（☁などのアイコン）をクリックします。

例：[デバイス設定] 画面の動作メニュー



- ✎ アイコンにマウスを重ねると、機能名称がアイコンの下に表示されます。
- 動作メニュー独自の機能を「動作メニュー独自の機能項目」(➡下記) で説明しています。

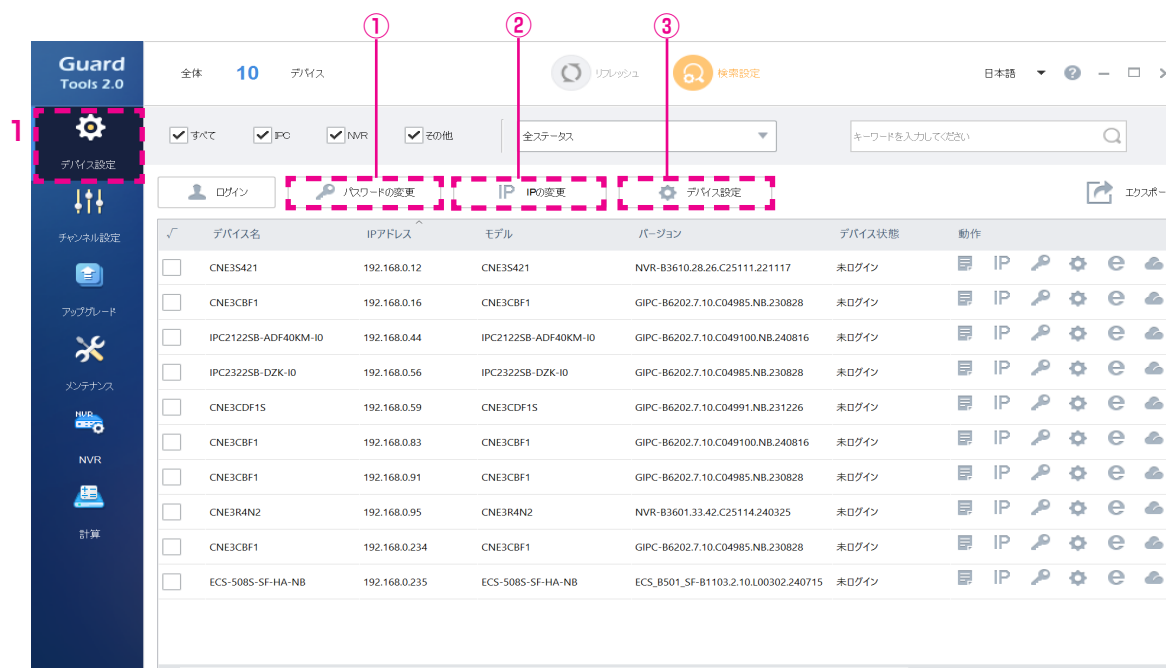
動作メニュー独自の機能項目

動作メニュー独自の機能を説明します。

(詳細)	デバイスの名称や MAC アドレスなどの情報が表示されます。 各ツール画面（左端の青枠画面）で利用できます。
(リモート Web)	デバイスの管理画面をブラウザで開きます。 [デバイス設定] および [チャンネル設定] 画面で利用できます。
(クラウド サービス)	この機能はサポート対象外です。 [デバイス設定] および [メンテナンス] 画面で表示されます。

デバイス設定画面の主要機能

1 「デバイス設定」をクリックする



2 デバイスの設定を変更する

番号	項目	内容
①	パスワードの変更	デバイスへのログインパスワードを変更する (➡ 18 ページ)
②	IP の変更	デバイスの IP アドレスを変更する (➡ 19 ページ)
③	デバイス設定	デバイスの名称・時刻／ネットワーク設定を変更 (➡ 21 ページ)

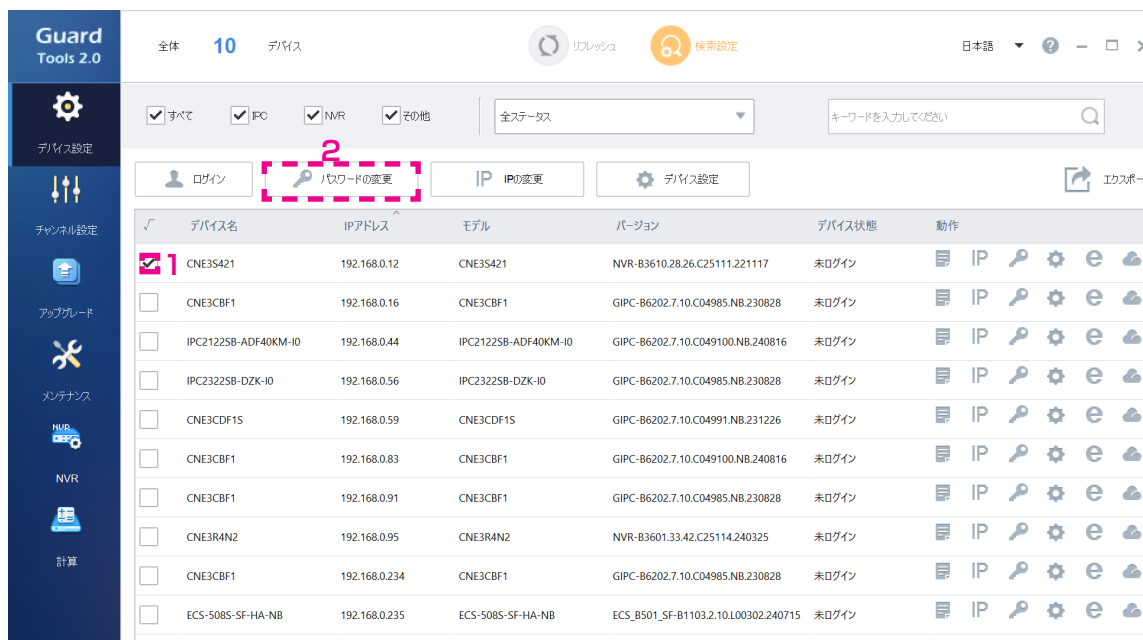
基本的な操作方法については「基本の操作方法」(➡ 8 ページ)を参照してください。

パスワードを変更する

1 操作したいデバイスを選択する

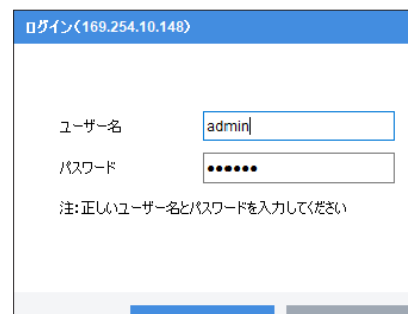
重要 ユーザー名とパスワードが異なる複数のデバイスを一括操作することはできません。

2 操作メニューから【パスワードの変更】をクリックする



3 【ログイン】画面が表示された場合、デバイスのユーザー名とパスワードを入力して、【OK】をクリックする

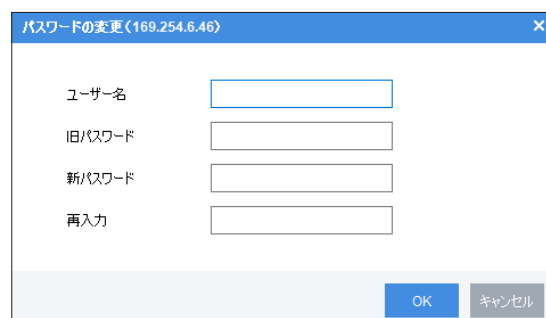
ログインに失敗した場合は、手順をはじめからやり直します。



4 ユーザー名とパスワード (20文字以内。英大文字・英小文字・数字・記号を使用。※ / * ¥ ? ' " < > : ! % 以外の記号は使用不可。※ Web ブラウザ上では再設定の必要あり) を入力する

【OK】をクリックします。

旧パスワード	現在のパスワードを入力します。
新パスワード / 再入力	新しいパスワードを入力します。



5 操作結果がデバイスの【動作状態】に表示。

「変更完了」と表示されていれば、正常に完了しています。

IP アドレスを変更する

- 1 操作したいデバイスを選択する
- 2 操作メニューから【IP の変更】をクリックする

The screenshot shows the Guard Tools 2.0 web interface. On the left is a sidebar with navigation icons. The main area displays a table of devices. A red dashed box highlights the 'IP の変更' button in the top navigation bar, with a red '2' next to it. Below the table, there are buttons for 'ログイン', 'パスワードの変更', and 'IP の変更'.

✓	デバイス名	IPアドレス	モデル	バージョン	デバイス状態	動作
☒	CNE3S421	192.168.0.12	CNE3S421	NVR-B3610.28.26.C25111.221117	未ログイン	IP
☐	CNE3CBF1	192.168.0.16	CNE3CBF1	GPC-B6202.7.10.C04985.NB.230828	未ログイン	IP
☐	IPC21225B-ADF40KM-10	192.168.0.44	IPC21225B-ADF40KM-10	GPC-B6202.7.10.C049100.NB.240816	未ログイン	IP
☐	IPC23225B-DZK-10	192.168.0.56	IPC23225B-DZK-10	GPC-B6202.7.10.C04985.NB.230828	未ログイン	IP
☐	CNE3CDF15	192.168.0.59	CNE3CDF15	GPC-B6202.7.10.C04991.NB.231226	未ログイン	IP
☐	CNE3CBF1	192.168.0.83	CNE3CBF1	GPC-B6202.7.10.C049100.NB.240816	未ログイン	IP
☐	CNE3CBF1	192.168.0.91	CNE3CBF1	GPC-B6202.7.10.C04985.NB.230828	未ログイン	IP
☐	CNE3R4N2	192.168.0.95	CNE3R4N2	NVR-B3601.33.42.C25114.240325	未ログイン	IP
☐	CNE3CBF1	192.168.0.234	CNE3CBF1	GPC-B6202.7.10.C04985.NB.230828	未ログイン	IP
☐	ECS-508S-SF-HA-NB	192.168.0.235	ECS-508S-SF-HA-NB	ECS_B501_SF-B1103.2.10.L00302.240715	未ログイン	IP

- 3 新しいIPアドレス情報と、デバイスのログイン情報を入力する

The screenshot shows the 'IPの変更(2のデバイス選択中)' dialog box. It has fields for 'IP範囲', 'サブネットマスク', and 'ゲートウェイ'. Below these is a table with columns: 'IP(旧)', 'IP(新)', 'サブネットマスク', 'ゲートウェイ', 'ユーザー名', 'パスワード', and '動作状態'. Red dashed boxes and arrows highlight the '一括で設定できます' (Can be set all at once) and '個別に設定します' (Set individually) options.

IP(旧)	IP(新)	サブネットマスク	ゲートウェイ	ユーザー名	パスワード	動作状態
169.254.6.46	169.254.6.46	255.255.0.0	169.254.6.1	admin	123456	未ログイン
169.254.10.148	169.254.6.47	255.255.0.0	169.254.6.1	admin	123456	未ログイン

番号	項目	内容
①	IP 範囲 / サブネットマスク / ゲートウェイ	一括で設定できます
②	IP (新) / サブネットマスク / ゲートウェイ / ユーザ名 / パスワード	個別に設定します

 デバイスを個別選択していた場合は、以下の画面表示になります。

IPの変更(2のデバイス選択中)

IP範囲 -

サブネットマスク

ゲートウェイ

IP(旧)	IP(新)	サブネットマスク	ゲートウェイ	ユーザー名	パスワード	動作状態
169.254.6.46	169.254.6.46	255.255.0.0	169.254.6.1	admin	123456	未ログイン
169.254.10.148	169.254.6.47	255.255.0.0	169.254.6.1	admin	123456	未ログイン

•IP アドレス情報 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ)

「一括設定」または「個別設定」で新しいIP アドレス情報を入力します。

- ①「個別設定」で入力する場合は、項目をダブルクリックします。
- ②「一括設定」で変更した内容は、「個別設定」に自動で反映されます。
- ③「一括設定」と「個別設定」で内容が異なる場合は、「個別設定」で入力した内容が優先されます。

重要 ネットワークカメラを複数選択していた場合は、カメラに IP アドレスが連番で割り振られます。
【個別に IP アドレスを割り振りたい場合】一括設定ではなく、個別設定で IP アドレスを入力してください。

•ログイン情報 (ユーザー名、パスワード)

「個別設定」でデバイスごとにログイン情報を入力します。入力するには、項目をダブルクリックします。

4 [OK] をクリックする

変更処理が開始されます。

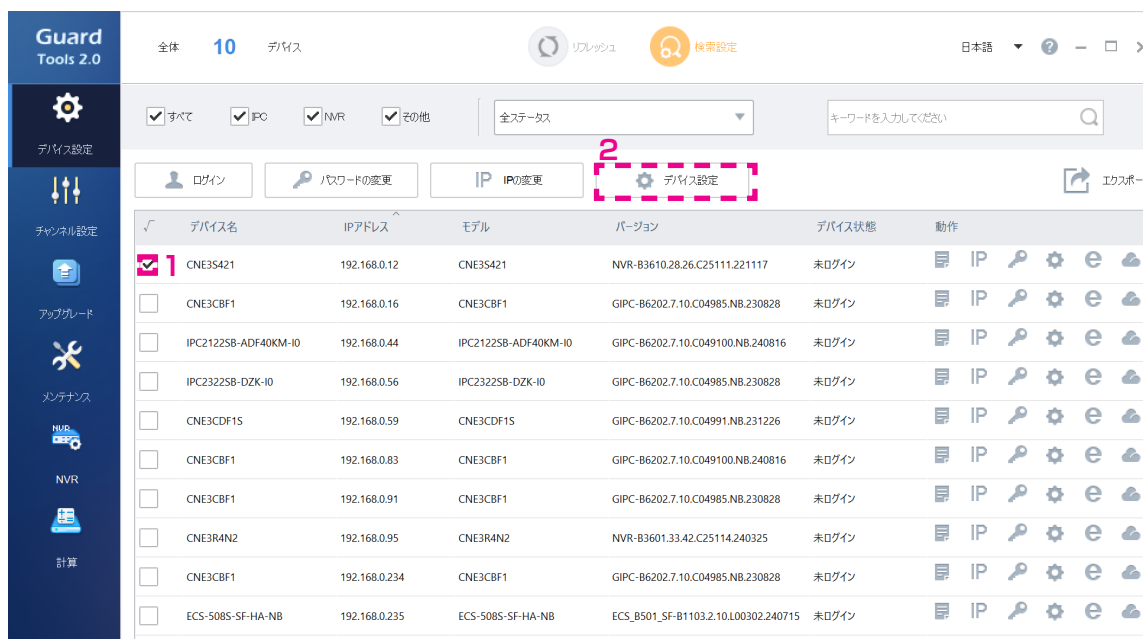
5 処理が完了すると【動作状態】の表示が更新されるので、内容を確認する

変更完了	正常に完了しています。次の手順に進みます。
変更失敗	ログイン情報の入力が間違っている可能性があります。[閉じる] をクリックし、「IP アドレスを変更する」の手順 2 から再度実施します。

6 [閉じる] をクリックする

名称・時刻／ネットワーク設定を変更する

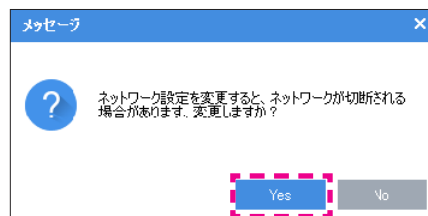
- 1 操作したいデバイスを選択する
- 2 操作メニューから【デバイス設定】をクリックする



- 3 【ログイン】画面が表示された場合、
デバイスのユーザー名とパスワードを入力して、
【OK】をクリックする
ログインに失敗した場合は、手順をはじめてから
やり直します。



- 4 設定を変更する
設定項目の詳細は、[デバイス設定]の設定項目
(➡ 22 ページ) を参照してください。
- 5 【保存】をクリックする
[保存しました]が表示されることを確認します。
- 6 ネットワーク設定を変更した場合、右のメッ
セージ画面が表示されるので【Yes】をク
リックする



- 7 【閉じる】をクリックする

デバイス設定

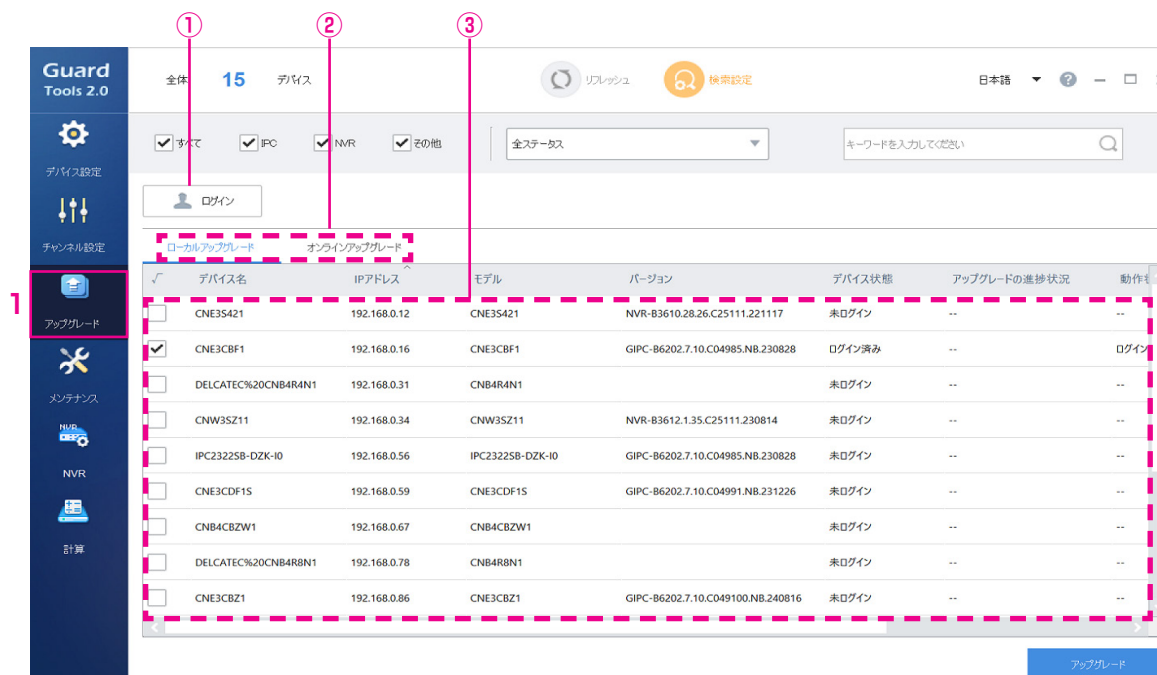
デバイス設定の画面は以下の機能で構成されています。

番号	項目	内容	
①	デバイス名	デバイス名称を設定します。	
②	時間	デバイスのタイムゾーンと時刻を設定します。	
		コンピュータ 時間と同期	設定を保存するときに、コンピュータの時刻をデバイスに適用します。 [同期を解除] をクリックすると、設定を解除できます。
③	サマータイム	サマータイムの期間と調整時間を選びます。	
		サマータイム	デバイスがネットワークレコーダーの場合に表示されます。
		開始時間 / 終了時間	サマータイムの期間を選びます。
		バイアス	サマータイム期間中に早める時間を選びます。
④	ネットワーク	ネットワークの設定をします。	
		NIC を選択	デバイスがネットワークレコーダーの場合に表示されます。 設定は NIC 1 に固定されています。変更できません。
		IP 取得モード	IP アドレスの解決方法を選びます。 ・ [静的 IP アドレス] を選んだ場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。 ・ [PPPoE] を選んだ場合、PPPoE 認証のユーザー名とパスワードを設定します。
		ポート種別	設定は銅ポートに固定されています。変更できません。
		動作モード	デバイスがネットワークカメラの場合に表示されます。 イーサネットの通信速度・方式を選びます。
⑤	DNS	優先と代替 DNS サーバーを設定します。	
⑥	ポート	HTTPS と HTTP ポートの番号を設定します。	

アップグレード画面の主要機能

1 [アップグレード] をクリックする

[アップグレード] ツールをクリックすると、デバイス（カメラ・レコーダー）のモデル名・バージョン情報・IP アドレス・状態が表示されます。



番号	項目	内容
①	ログイン	ログインをします。
②	更新方法	デバイスのファームウェアを更新します (➡ 24 ページ)。
③	デバイスリスト	デバイス一覧を表示します。

基本的な操作方法については「基本の操作方法」(➡ 8 ページ) を参照してください。

デバイスのファームウェアをダウンロードする

1 Web ブラウザーで製品情報のページを開き、ファームウェアを更新する製品を選ぶ。

ネットワークカメラ / ネットワークレコーダー	https://dxantenna-product.dga.jp/list.html?category=144
ワイヤレス対応 ネットワークカメラ	https://dxantenna-product.dga.jp/list.html?category=173

2 [ファームアップデートのご案内] をクリックする

製品によっては、ファームウェアの更新バージョンが提供されていない場合があります。[ファームアップデートのご案内] が表示されていない製品は、この手順を進めることはできません。

3 [ダウンロード] をクリックする

zip ファイルがダウンロードされます。

4 ネットワークレコーダーのファームウェアをダウンロードした場合は、Zip ファイルを開いて展開する

展開したフォルダーに拡張子が「.bin」のファイルがあることを確認します

デバイスのファームウェアを更新する

重要

- ファームウェアが対象のデバイスに対応していることを必ず確認してください。予期しない結果が発生する原因になります。
- ファームウェアの更新を開始し、デバイスが再起動するまでは電源を切らないでください。

1 更新方法で【ローカルアップグレード】をクリックする

重要

- 【ローカルアップグレード】のみサポートしています。
- 【オンラインアップグレード】には対応していません。

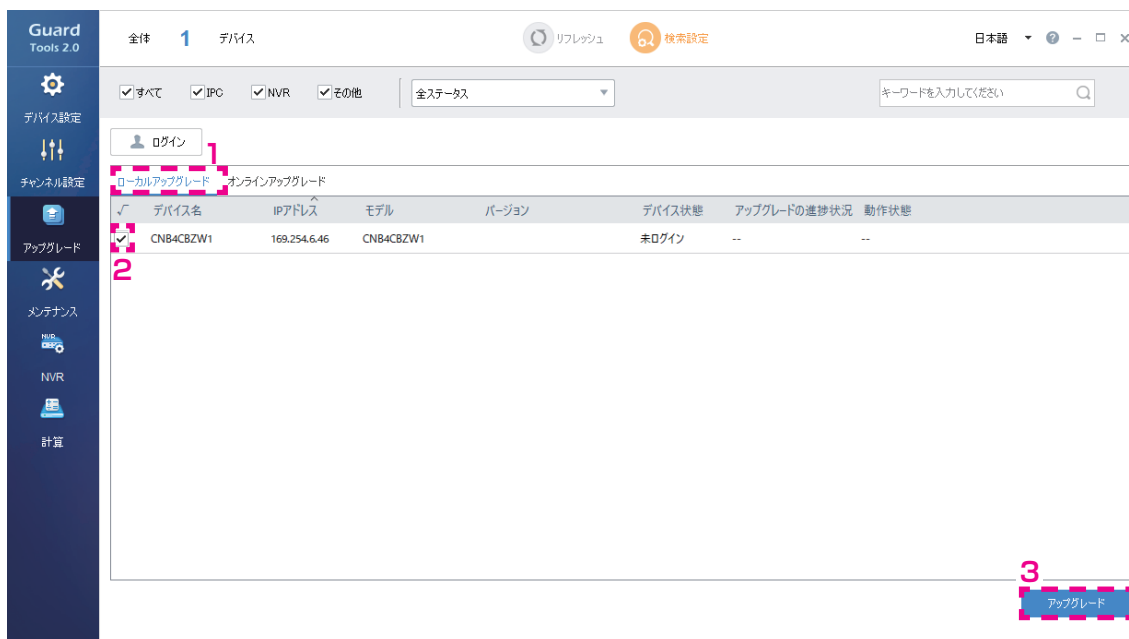
2 操作したいデバイスを選択する

展開したフォルダーに拡張子が「.bin」のファイルがあることを確認します。

重要

- デバイスを複数選択する場合は、必ず同じモデルのデバイスのみを選んでください。

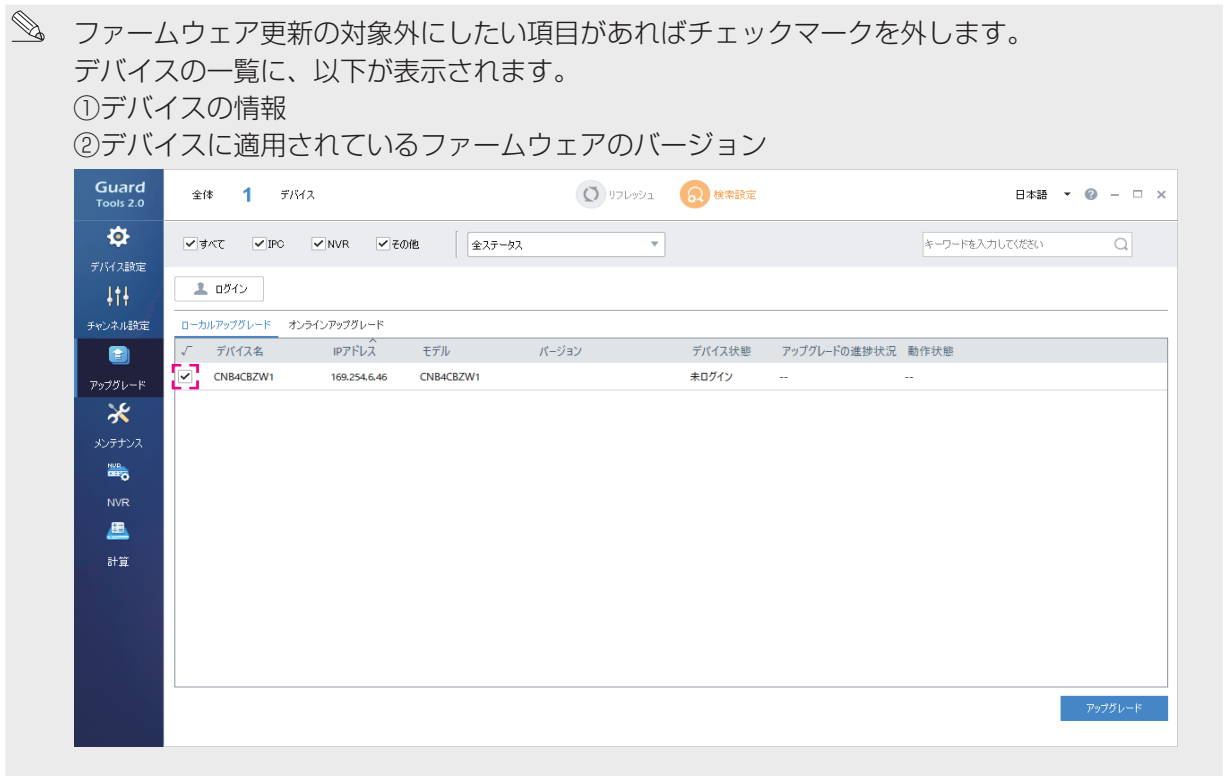
3 【アップグレード】をクリックする



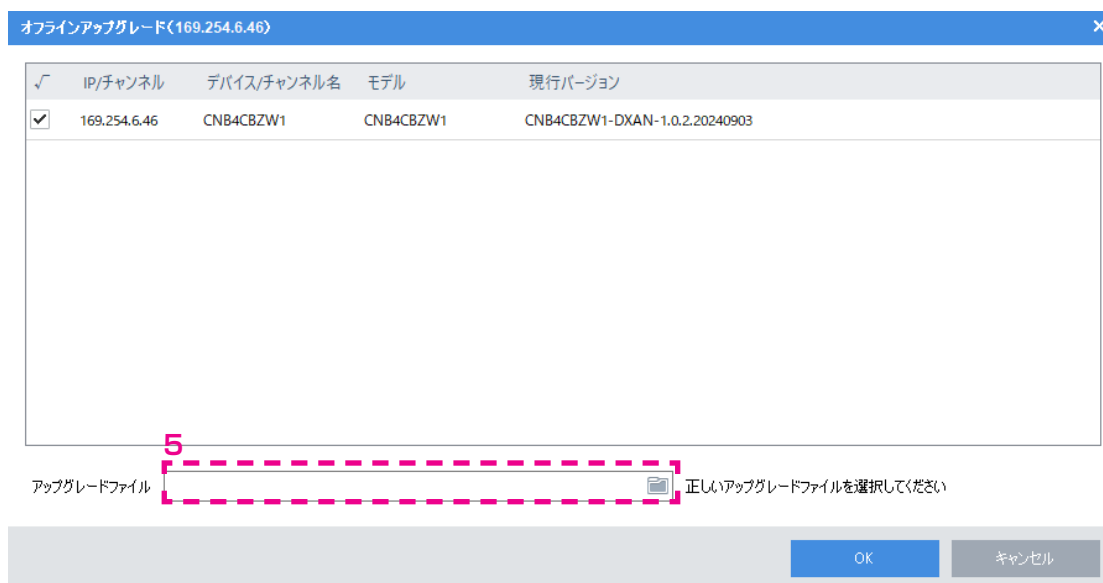
4 【ログイン】画面が表示された場合、デバイスのユーザー名とパスワードを入力して、【OK】をクリックする

ログインに失敗した場合は、手順をはじめてからやり直します。





5 [アップグレードファイル] で (アップグレードファイルの選択) をクリックする



ホームページからダウンロードしたファームウェアを選択します (➡ 23 ページ)。

6 デバイスの種類に応じて、プルダウンメニューでファイルの種類を選ぶ

- ・ネットワークカメラの場合：[zip ファイル (*.zip)]
- ・ネットワークレコーダーの場合：[bin ファイル (*.bin)]

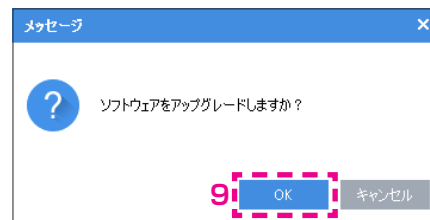
7 事前にホームページからダウンロードしたファームウェアのファイルを選択し、[開く] をクリックします。

8 [OK] をクリックする

[オンラインアップグレード] 画面が閉じられます。

9 [OK] をクリックする

ファームウェアの更新処理が開始されます。



10 デバイスの【動作状態】が【アップグレード完了】になることを確認する



【アップグレードの進捗状況】にファームウェアの更新状況が表示されます。

ローカルアップグレード		オンラインアップグレード					
✓	デバイス名	IPアドレス	モデル	バージョン	デバイス状態	アップグレードの進捗状況	動作状態
✓	CNE3CBF1	192.168.1.13	CNE3CBF1	GIPC-B6202.7.10.C04985.NB.230828	未ログイン	100%	アップグレード完了

メンテナンス画面の主要機能

[メンテナンス] をクリックすると、デバイス（カメラ・レコーダー）を下記の通り管理できます。

- ① デバイスを再起動する（⇒ 28 ページ）
- ② デバイスを初期化する（⇒ 29 ページ）
- ③ デバイスの診断情報をエクスポートする（⇒ 30 ページ）
- ④ デバイスの設定内容をエクスポートまたはインポートする（⇒ 31 ページ）

Guard Tools 2.0

全体 15 デバイス

リフレッシュ 検索設定

日本語

デバイス設定

チャンネル設定

アップグレード

メンテナンス

NVR

ログイン

再起動

元に戻す

メンテナンス

デバイス名	IPアドレス	モデル	バージョン	ステータス	動作
CNE3S421	192.168.0.12	CNE3S421	NVR-B3610.28.26.C25111.221117	未ログイン	再起動 元に戻す 診断情報エクスポート 設定エクスポート/インポート
CNE3CBF1	192.168.0.16	CNE3CBF1	GIPC-B6202.7.10.C04985.NB.230828	未ログイン	再起動 元に戻す 診断情報エクスポート 設定エクスポート/インポート
DELCATEC%20CNB4R4N1	192.168.0.31	CNB4R4N1		未ログイン	再起動 元に戻す 診断情報エクスポート 設定エクスポート/インポート
CNW3SZ11	192.168.0.34	CNW3SZ11	NVR-B3612.1.35.C25111.230814	未ログイン	再起動 元に戻す 診断情報エクスポート 設定エクスポート/インポート
IPC21225B-ADF40KM-I0	192.168.0.44	IPC21225B-ADF40KM-I0	GIPC-B6202.7.10.C049100.NB.240816	未ログイン	再起動 元に戻す 診断情報エクスポート 設定エクスポート/インポート
IPC23225B-DZK-I0	192.168.0.56	IPC23225B-DZK-I0	GIPC-B6202.7.10.C04985.NB.230828	未ログイン	再起動 元に戻す 診断情報エクスポート 設定エクスポート/インポート
CNE3CDF1S	192.168.0.59	CNE3CDF1S	GIPC-B6202.7.10.C04991.NB.231226	未ログイン	再起動 元に戻す 診断情報エクスポート 設定エクスポート/インポート

基本的な操作方法については「基本の操作方法」の記載を参照してください。

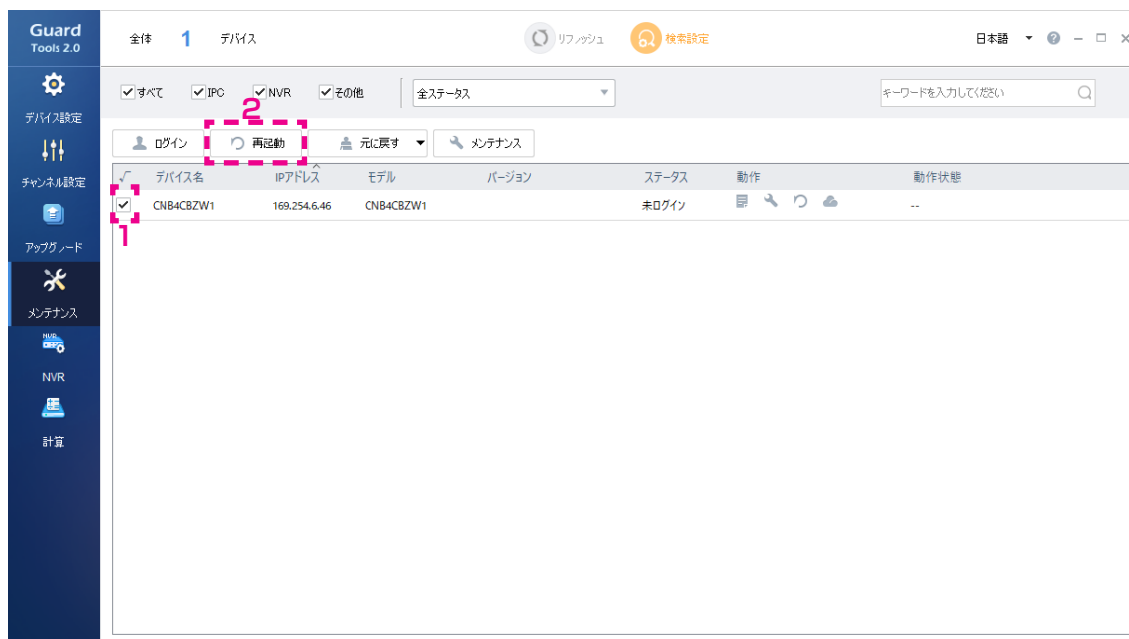
デバイスを再起動する

1 操作したいデバイスを選択する

重要 ログイン情報（ユーザー名・パスワード）が異なる複数のデバイスを一括操作するには、事前に以下の操作をします。

1. ログイン情報が同じデバイスのみを選んでから、「デバイスにログインする」に記載の操作をする
ログイン情報のパターンに応じて、繰り返し操作します。
2. 設定を変更したいログイン済みのデバイスにチェックマークを付ける

2 操作メニューから【再起動】をクリックする

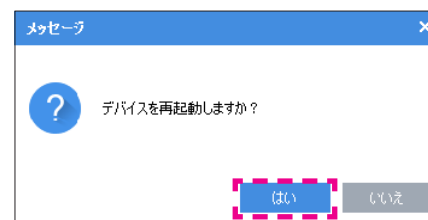


3 【ログイン】画面が表示された場合、デバイスのユーザー名とパスワードを入力して、【OK】をクリックする

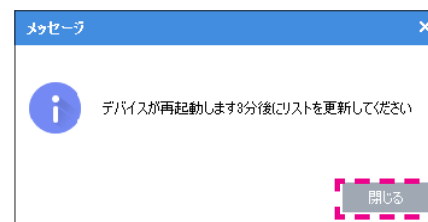
ログインに失敗した場合は、手順をはじめてからやり直します。



4 【はい】をクリックする



5 【閉じる】をクリックする



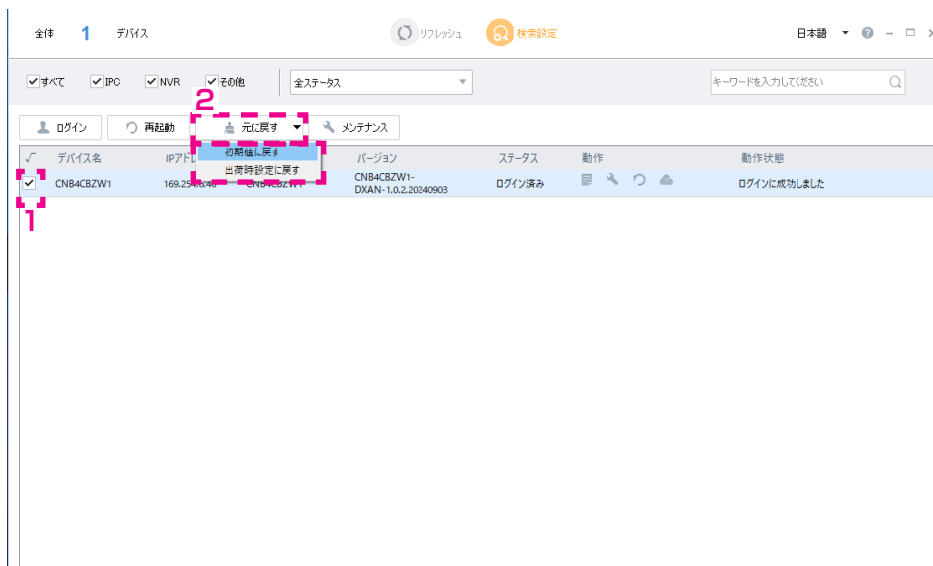
6 時間をおいてから「デバイスリストの情報を最新に更新する」に記載の操作をする

デバイスの再起動が完了すると、デバイスリストにデバイスが表示されます。

デバイスを初期化する

- 1 操作したいデバイスを選択する
- 2 操作メニューから【元に戻す】をクリックし、動作を選ぶ
目的の動作に応じて、項目をクリックします。

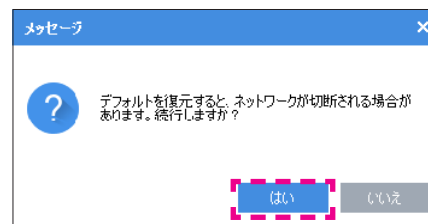
初期値に戻す	ネットワーク、ユーザー、および時刻の設定を除いて、工場出荷時の設定に戻します。
出荷時設定に戻す	すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。



- 3 【ログイン】画面が表示された場合、
デバイスのユーザー名とパスワードを入力して、【OK】をクリックする
ログインに失敗した場合は、手順を最初からやり直します。



- 4 【はい】をクリックする



- 5 時間を置いてから「デバイスリストの情報を最新に更新する」に記載の操作をする
デバイスの再起動が完了すると、デバイスリストにデバイスが表示されます。

重要

【出荷時設定に戻す】で初期化した場合、デバイスのネットワーク設定も初期化されます。現在の【検索設定】やコンピューターのネットワーク設定によってはデバイスリストにデバイスが表示されません。この場合は、以下の操作をします。

※ IP アドレスなどの初期値についての詳細は、デバイスの取扱説明書を参照してください。

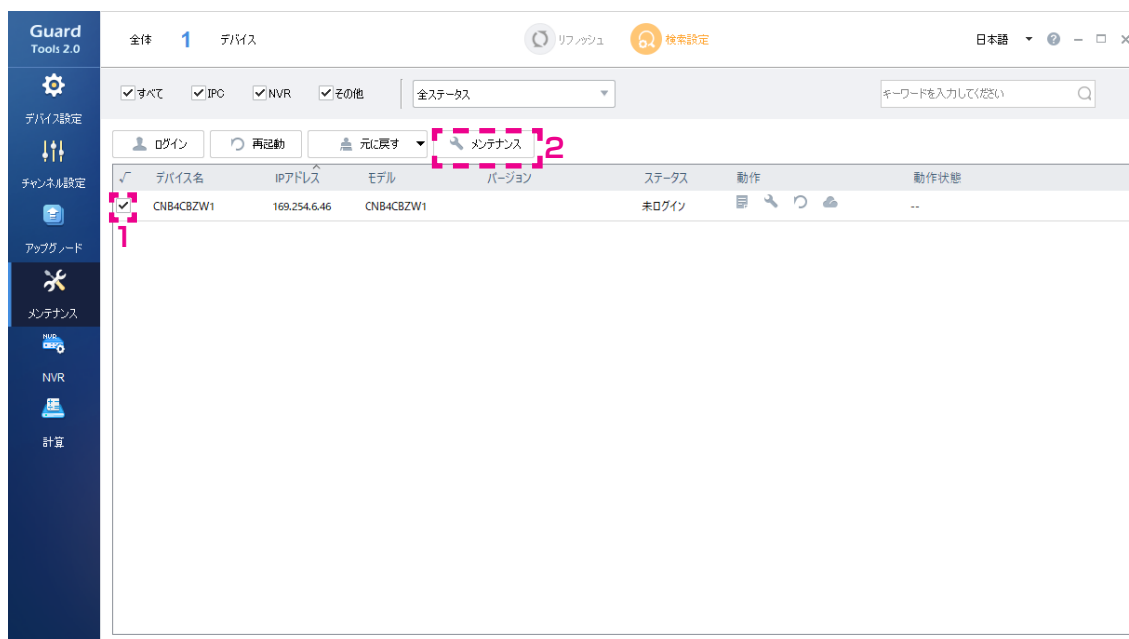
【コンピューターから、デバイスの IP アドレスを参照できるネットワーク構成の場合】

→ 「デバイスの検索条件を設定する」に記載の手順で検索条件を調整します。

デバイスの診断情報をエクスポートする

診断情報の詳細については、デバイスの取扱説明書を参照してください。

- 1 操作したいデバイスを選択する
- 2 操作メニューから【メンテナンス】をクリックする



- 3 【ログイン】画面が表示された場合、
デバイスのユーザー名とパスワードを入力して、
【OK】をクリックする
ログインに失敗した場合は、手順をはじめてから
やり直します。



- 4 【診断情報】の【保存パス】で保存先を指定する
保存先を指定するには、をクリックしてフォルダーを選びます。

- 5 【診断情報】の【エクスポート】をクリックする
エクスポート処理が開始されます。

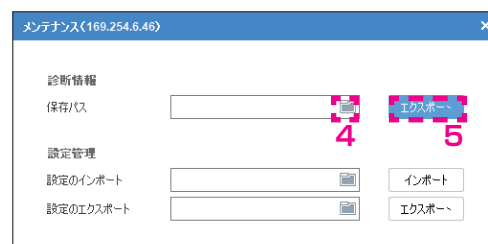
- 6 デバイスの【動作状態】が【エクスポート完了】になることを確認する

- 7 手順 4 で指定したフォルダーに診断情報ファイルが保存されていることを確認する

設定ファイルは各デバイスごとに、以下のファイル名で保存されます。

・ <デバイス名> _ <IP アドレス> _config.tgz

※ <デバイス名> と <IP アドレス> は選択していたデバイスの情報に該当します。

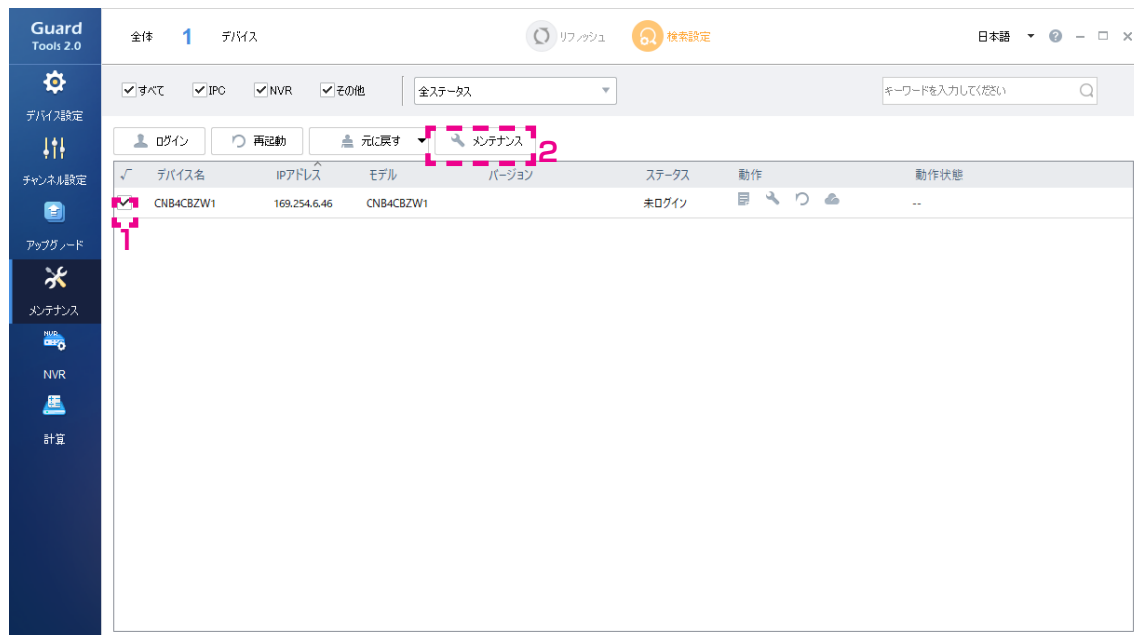


デバイスの設定内容をエクスポートまたはインポートする

デバイスの設定をデータ化し、コンピューター上にファイルとして保存（エクスポート）できます。保存したファイルを使用して、デバイスの設定を復元（インポート）できるようになります。

1 操作したいデバイスを選択する

2 操作メニューから【メンテナンス】をクリックする



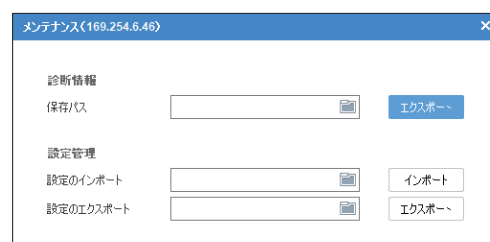
3 【ログイン】画面が表示された場合、デバイスのユーザー名とパスワードを入力して、【OK】をクリックする

ログインに失敗した場合は、手順を最初からやり直します。



4 右の画面が表示されたら、次の手順に進む

- デバイスの設定内容をファイルにエクスポートする (⇒ 32 ページ)
- デバイスの設定内容をファイルにインポートする (⇒ 32 ページ)



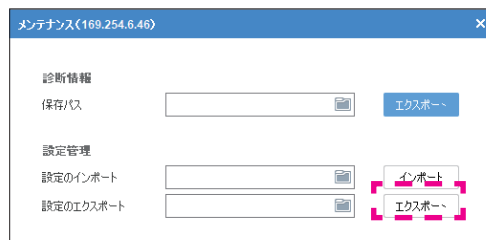
■ デバイスの設定内容をファイルにエクスポートする

1 [設定管理] > [設定のエクスポート] で保存先を指定する

保存先を指定するには、をクリックしてフォルダーを選びます。

2 [設定管理] > [設定のエクスポート] > [エクスポート] をクリックする

エクスポート処理が開始されます。



3 デバイスの[動作状態]が[エクスポート完了]になることを確認する

4 手順2で指定したフォルダーに、設定ファイルが保存されていることを確認する

設定ファイルは各デバイスごとに、以下のファイル名で保存されます。

・ <デバイス名> _ <IP アドレス> _config.tgz

※ <デバイス名> と <IP アドレス> は選択したデバイスの情報に該当します。

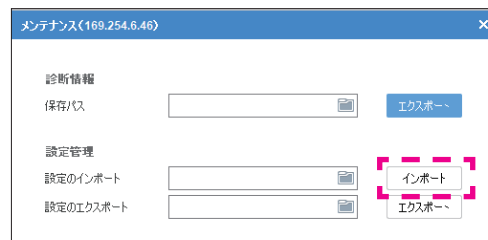
■ デバイスの設定内容をファイルにインポートする

1 [設定管理] > [設定のインポート] で設定ファイルを指定する

設定ファイルを指定するには、をクリックしてファイルを選びます。

2 [設定管理] > [設定のインポート] > [インポート] をクリックする

インポート処理が開始されます。



3 デバイスの[動作状態]が[インポート完了]になることを確認する

4 時間をおいてから「デバイスリストの情報を最新に更新する」に記載の操作をする

設定ファイルのインポート処理が完了すると、デバイスリストにデバイスが表示されます。

重要

・設定ファイルをインポートしても、デバイスリスト上にネットワークカメラが表示されない場合があります。その場合は、コンピューターとカメラを直接、LAN ケーブルで繋ぐと解決します。

NVR 画面の使いかた

1 デバイスにログインする

以下のデバイスにそれぞれログインします。

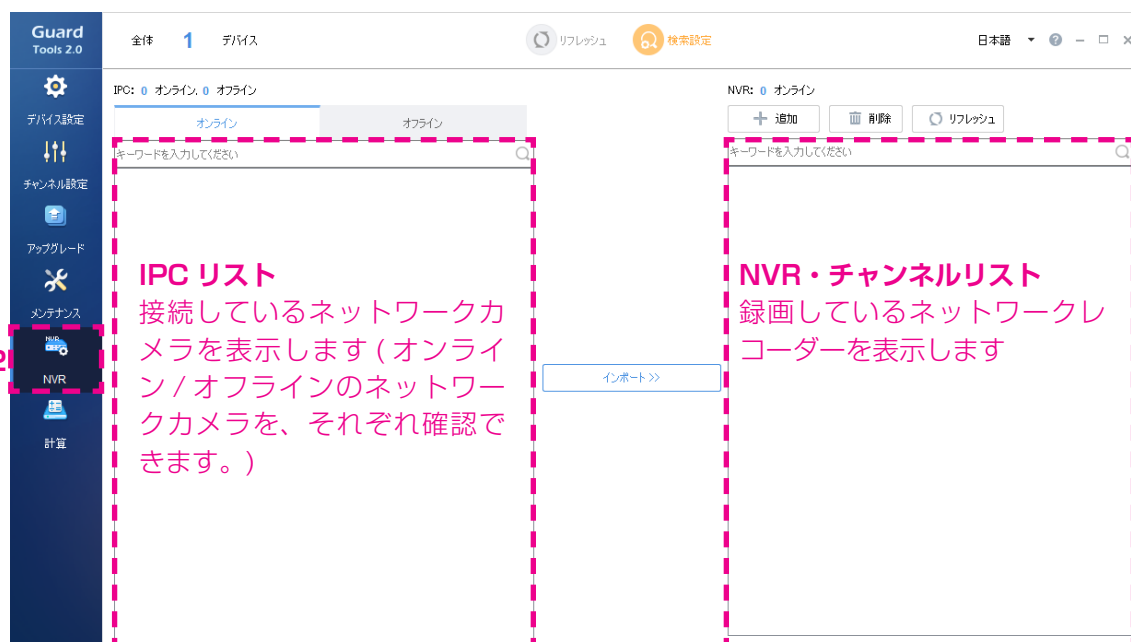
- ・ 設定変更・管理するレコーダー
- ・ 接続するネットワークカメラ



以下に該当する場合、ネットワークカメラの事前ログインを省略できます。

- ・ [NVR] ツール画面内でネットワークカメラのログイン情報を入力する場合
- ・ Guard Tools で検索できない IP アドレス情報でネットワークカメラを追加する場合
- ・ ネットワークカメラの削除操作のみをする場合

2 [NVR] ツールをクリックする



基本的な操作方法については「基本の操作方法」の記載を参照してください。

3 ネットワークレコーダーのチャンネルを管理する（ネットワークカメラを接続・解除する）



ネットワークカメラを事前ログインなしにネットワークレコーダーに追加したい場合、以下の内容を参照してください。

- ・ ログインしていないネットワークカメラを接続する (➡ 9 ページ)
- ・ IP アドレス情報を入力してネットワークカメラを接続する (➡ 9 ページ)

ネットワークカメラをレコーダーに接続する

1 [ログイン有無切り替え] で [オンライン] タブをクリックする

2 IPC リストで、接続したいネットワークカメラにチェックマークを付ける

- ネットワークカメラの IP アドレス一覧が表示されていない場合、**+**をクリックして折りたたみを開きます。
- 複数のネットワークカメラを選択し、チェックマークを付けると一括で接続できます。



[キーワードを入力してください] の検索窓に IP アドレスの一部を入力することで、表示項目を絞り込むことができます。

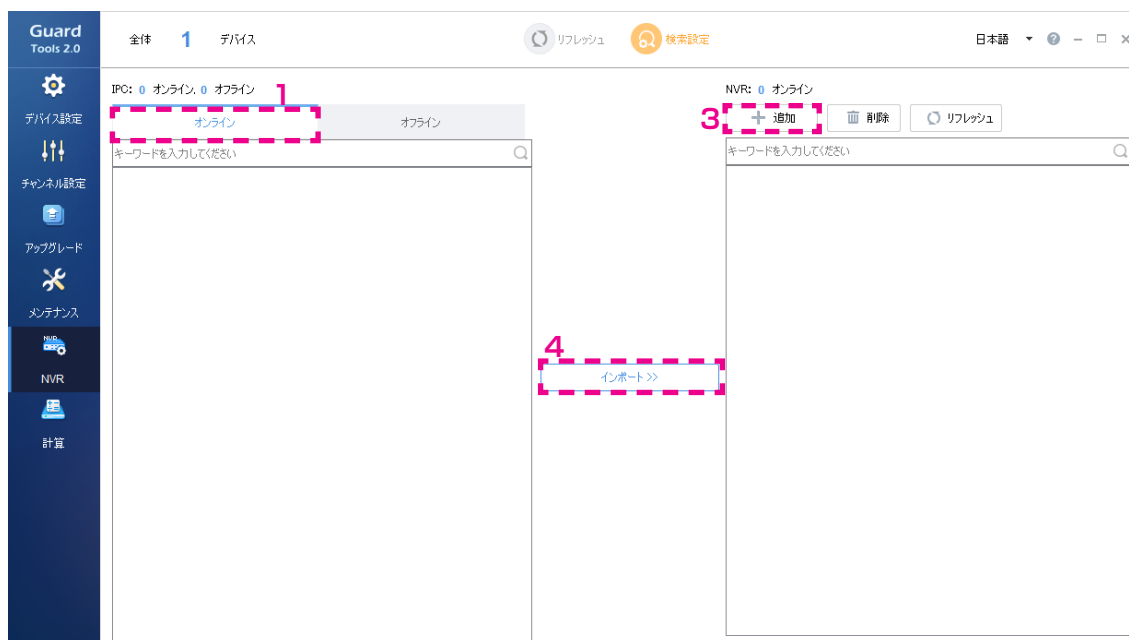
3 NVR・チャンネルリストで、接続先のネットワークレコーダーにチェックマークを付ける

- **+**をクリックすると、レコーダーに接続しているネットワークカメラの IP アドレス一覧が表示されます。
- 複数のレコーダーにチェックマークを付けた場合、それぞれのレコーダーに分散して録画されます。



[リフレッシュ] をクリックすると、NVR・チャンネルリストが最新の状態に更新されます。

4 [インポート] をクリックする



5 追加結果が表示されるので内容を確認して、[閉じる] をクリックする



- 複数のネットワークレコーダーにチェックマークを付けた場合、その個数分の画面が表示されます。
- [選択された NVR の管理対象 IP カメラ数が上限に達しました] と表示された場合、必要に応じて、「レコーダーからカメラを解除する」に記載の操作をしたあとに、手順 4 から操作を再開してください。



ネットワークカメラがレコーダーに接続されると、表示が以下の色に変わります。

- IPC リスト：オレンジ色
- NVR・チャンネルリスト：青色

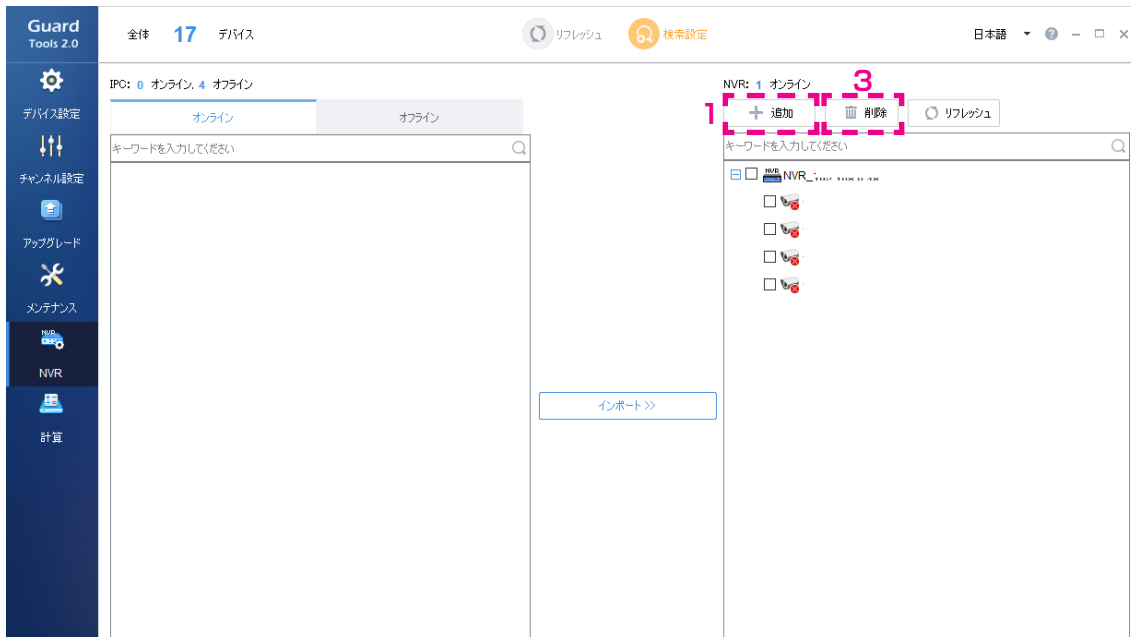
レコーダーからカメラを解除する

- 1 NVR・チャンネルリストで、ネットワークレコーダーの+をクリックして、折りたたみを開く
・ネットワークカメラのIP アドレス一覧が表示されます。

 [リフレッシュ] をクリックすると、NVR・チャンネルリストの表示が最新状態に更新されます。

- 2 削除したいネットワークカメラにチェックマークを付ける
複数のネットワークカメラにチェックマークが付けられます。

- 3 [削除] をクリックする



- 4 [はい] をクリックする

- 5 削除結果が表示されるので内容を確認して、[閉じる] をクリックする

ログインしていないネットワークカメラを接続する

1 [ログイン有無切り替え]で[オフライン]タブをクリックする

2 IPC リストで、接続したいネットワークカメラにチェックマークを付ける

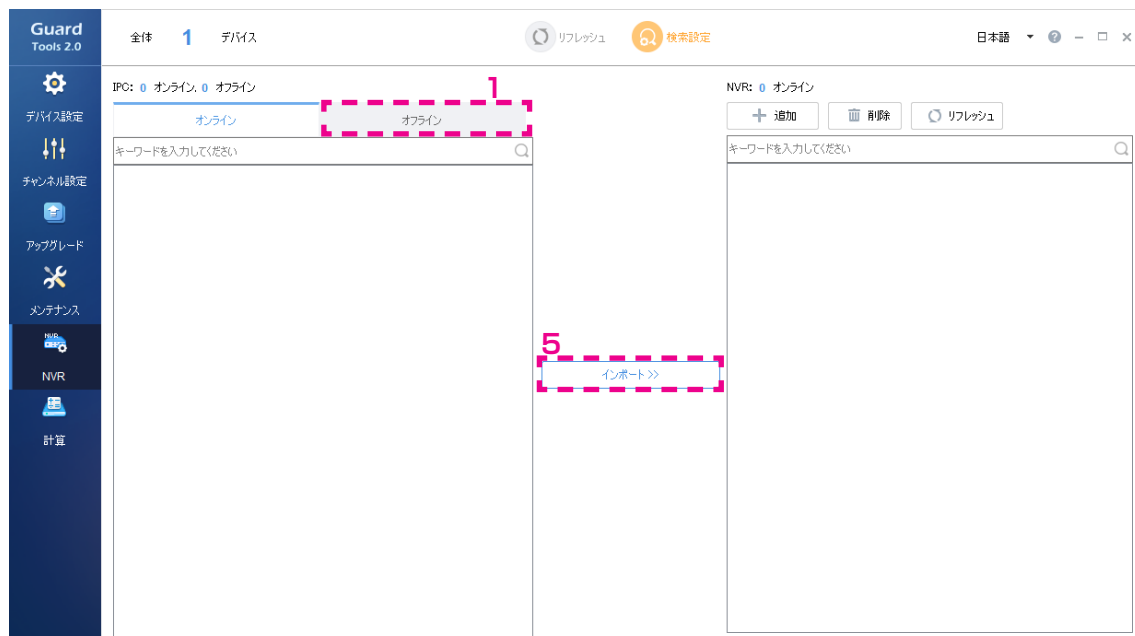
- ネットワークカメラの IP アドレス一覧が表示されていない場合、**+**をクリックして折りたたみを開きます。
- 複数のネットワークカメラを選択し、チェックマークを付けると一括で接続できます。ただし、ログイン情報が同一である必要があります。

 [キーワードを入力してください] の検索窓に IP アドレスの一部を入力することで、表示項目を絞り込むことができます。

3 NVR・チャンネルリストで、接続先のネットワークレコーダーにチェックマークを付ける

- **+**をクリックすると、レコーダーに接続しているネットワークカメラの IP アドレス一覧が表示されます。
- 複数のレコーダーにチェックマークを付けた場合、それぞれのレコーダーに分散して録画されます。

 [リフレッシュ] をクリックすると、NVR・チャンネルリストが最新の状態に更新されます。

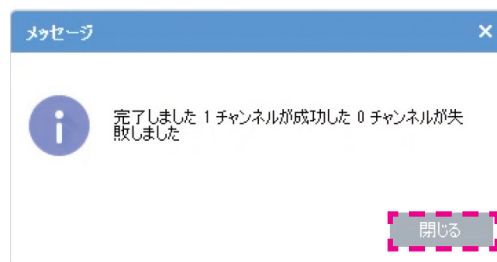


4 [ユーザ名を入力してください] と [パスワードを入力してください] にネットワークカメラのログイン情報を入力する

5 [インポート] をクリックする

6 追加結果が表示されるので内容を確認して、[閉じる]をクリックする

- 複数のネットワークレコーダーにチェックマークを付けた場合、その個数に応じてこの画面が表示されます。
- [選択された NVR の管理対象 IP カメラ数が上限に達しました] と表示された場合、必要に応じて、「レコーダーからカメラを解除する」に記載の操作をしたあとに、手順 **3** から操作を再開してください。

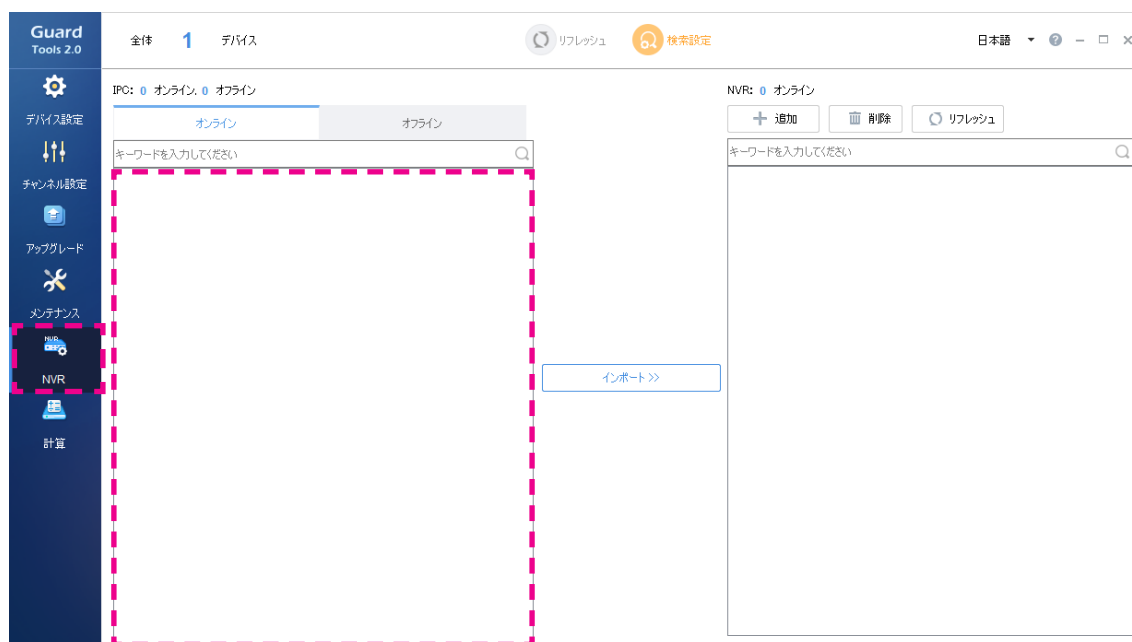


追加されたネットワークカメラの表示は以下のようになります。

- IPC リスト：オレンジ色
- NVR・チャンネルリスト：青色

IP アドレス情報を入力してネットワークカメラを接続する

ネットワークカメラの IP アドレス情報とログイン情報を入力して、ネットワークレコーダーに接続する手順を説明します。



1 NVR・チャンネルリストで、追加先のネットワークレコーダーにチェックマークを付ける

- ・ **+**をクリックすると、ネットワークレコーダーに追加されているネットワークカメラの IP アドレス一覧が表示されます。
- ・ 複数のネットワークレコーダーにチェックマークを付けた場合、それぞれのネットワークレコーダーに後続の手順で情報入力するネットワークカメラが追加されます。

2 [追加] をクリックする

3 ネットワークカメラの IP アドレス情報とログイン情報を入力して、[OK] をクリックする

追加

IPアドレス

0 . 0 . 0 . 0

ポート

80

ユーザー名

admin

パスワード

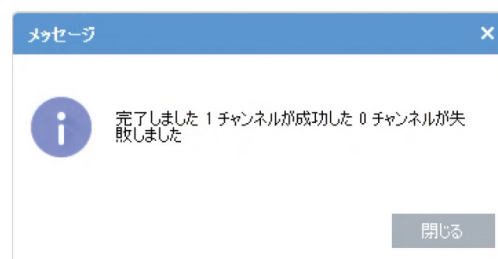
.....

OK

キャンセル

4 追加結果が表示されるので内容を確認して、[閉じる] をクリックする

- ・ 複数のネットワークレコーダーにチェックマークを付けた場合、その個数分の画面が表示されます。[選択された NVR の管理対象 IP カメラ数が上限に達しました] と表示された場合、必要に応じて、「レコーダからカメラを解除する」に記載の操作をしたあとに、手順 **1** から操作を再開してください。



計算画面の使いかた

1 「計算」 ツールをクリックする

2 デバイスの映像設定に項目を追加する

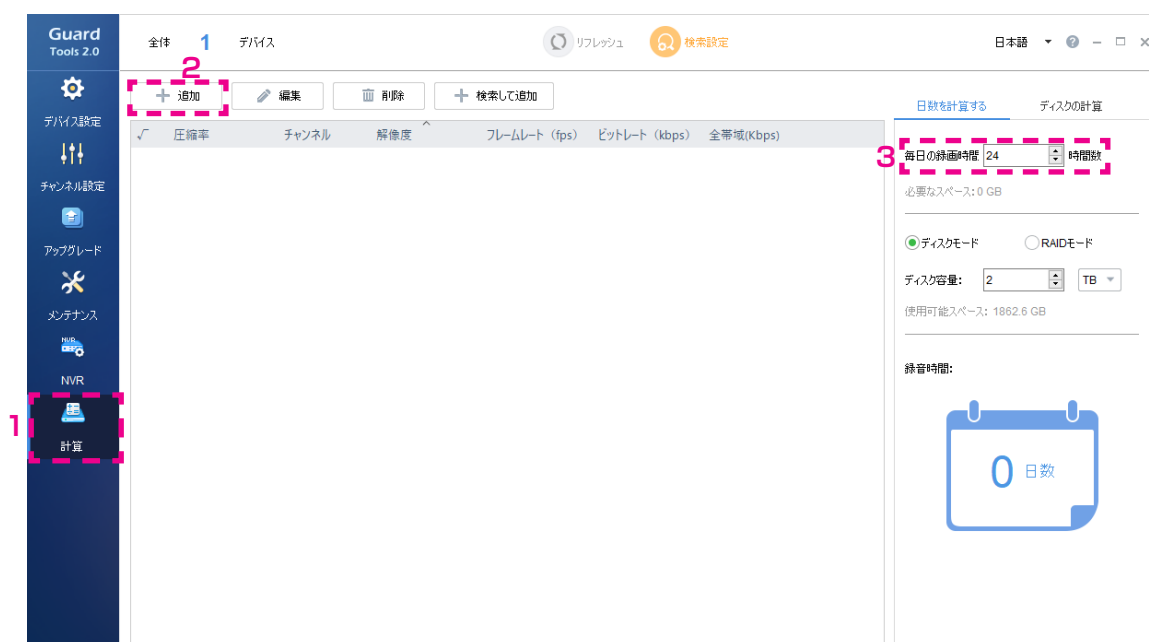
手動で映像設定を入力するか、デバイスから映像設定を参照する方法があります。

 追加した映像設定を編集・削除できます。

- ・ 映像設定を編集する (⇒ 42 ページ)
- ・ 映像設定を削除する (⇒ 42 ページ)

3 録画日数を計算する

 基本的な操作方法については「基本の操作方法」の記載を参照してください。

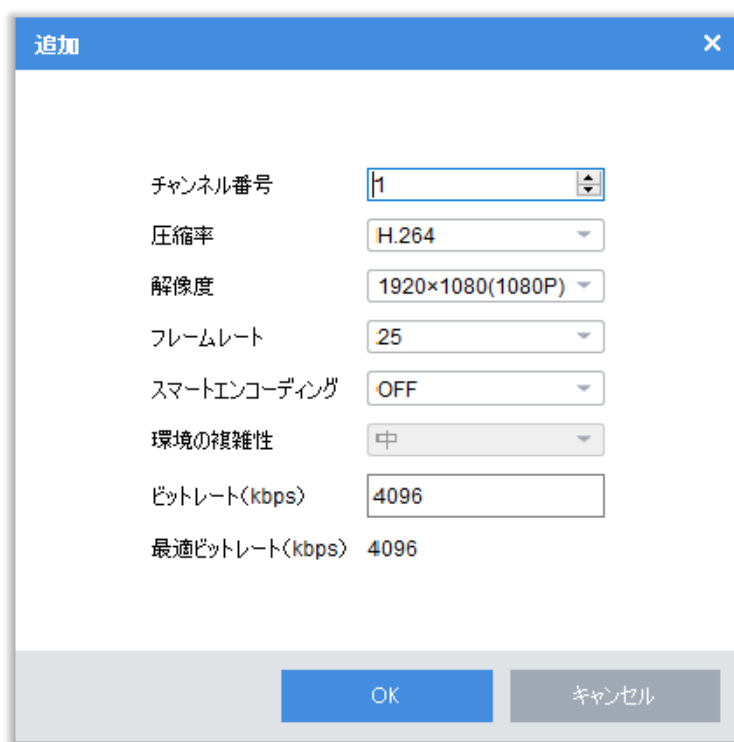


手動で映像設定の項目を入力する

- 1 [計算] ツールをクリックする
- 2 操作メニューから [追加] をクリックする



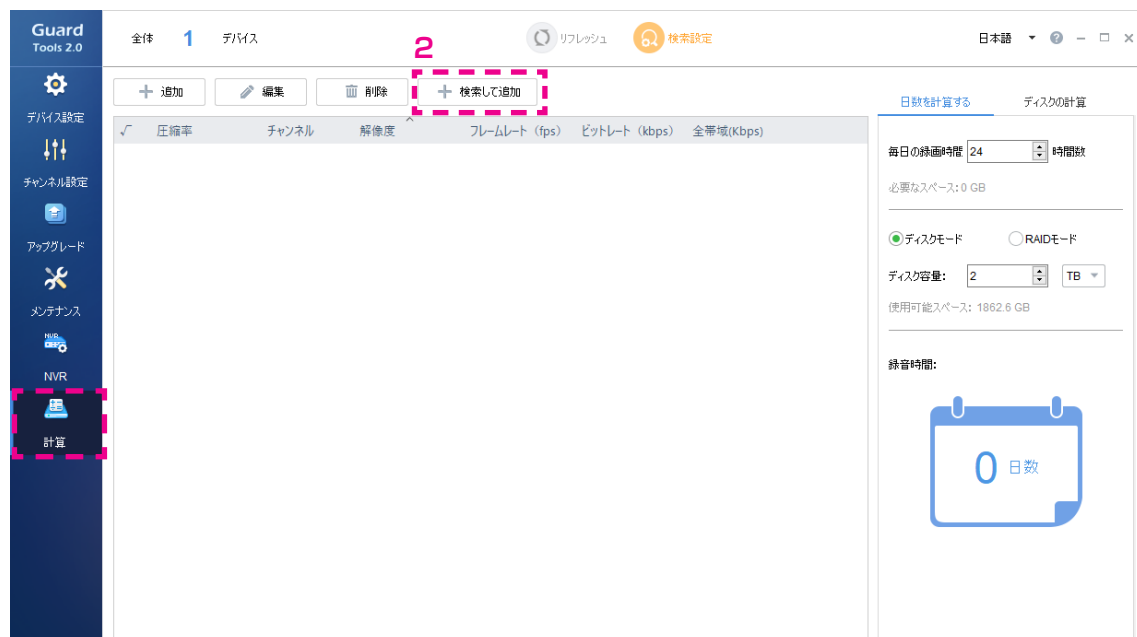
- 3 映像設定を入力して、[OK] をクリックする
デバイスの映像設定に関する項目が、リストに追加されます。



デバイスから映像設定を参照し、表示する

Guard Tools を通してデバイスの映像設定を参照し、入力する手順を説明します。

- 1 [計算] ツールをクリックする
- 2 操作メニューから [検索して追加] をクリックする



- 3 設定を参照したいデバイスにチェックマークを付ける

[オンラインデバイス] タブと、[オフラインデバイス] タブが表示されます。

[オンラインデバイス] タブ	ログイン済みのデバイスを表示します。
[オフラインデバイス] タブ	ログインしていないデバイスを表示します。
[キーワードを入力してください] の検索窓	デバイスの IP アドレスやモデル名を入力すると、表示を絞り込むことができます。



- 4 デバイスを選択後、[追加] をクリックする

- 5 [ログイン] 画面が表示された場合、デバイスのユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックする

[オフラインデバイス] でチェックマークを付けたデバイスがある場合に、ログインが求められます。

 ログインに成功したデバイスは、[オフラインデバイス] から [オンラインデバイス] に移動します。

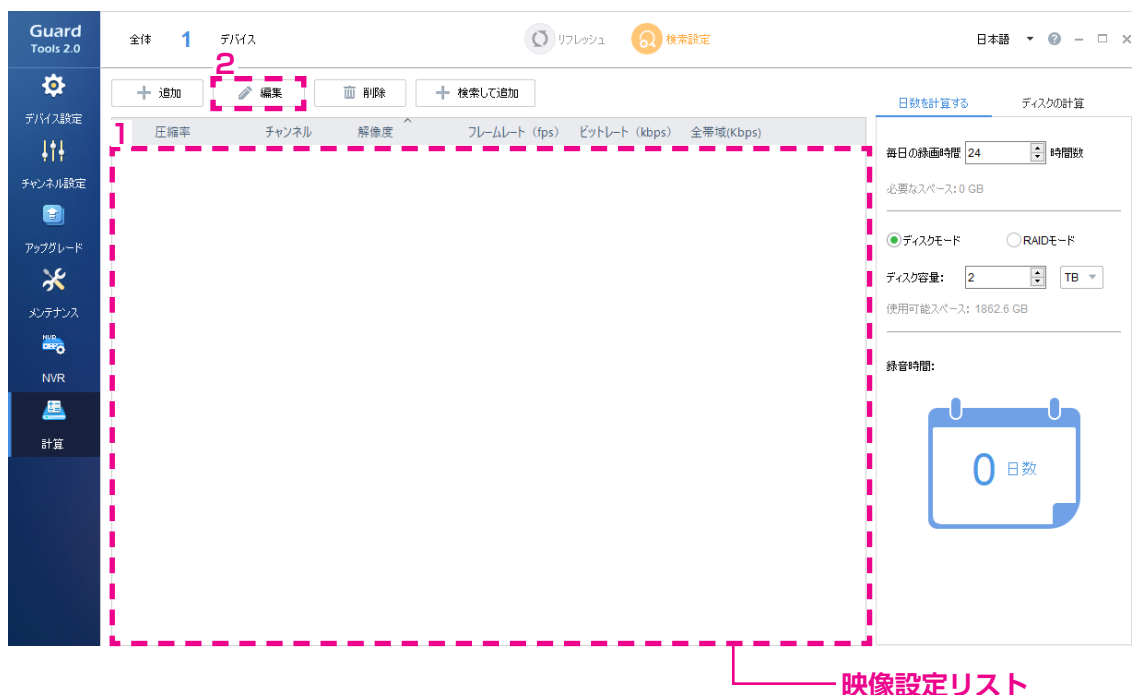


- 6 映像設定リストに項目が追加されたあと、[キャンセル] をクリックする

映像設定を編集する

- 1 映像設定リストで、編集したいデバイスにチェックマークを付ける
- 2 操作メニューから【編集】をクリックする

【複数のデバイスを選択した場合】最初の編集画面に、1 件目の内容が表示されます。
保存すると、編集した内容が他のデバイスにも反映されます。



- 3 映像設定を変更して、[OK] をクリックする
変更した内容で映像設定が保存されます。

映像設定を削除する

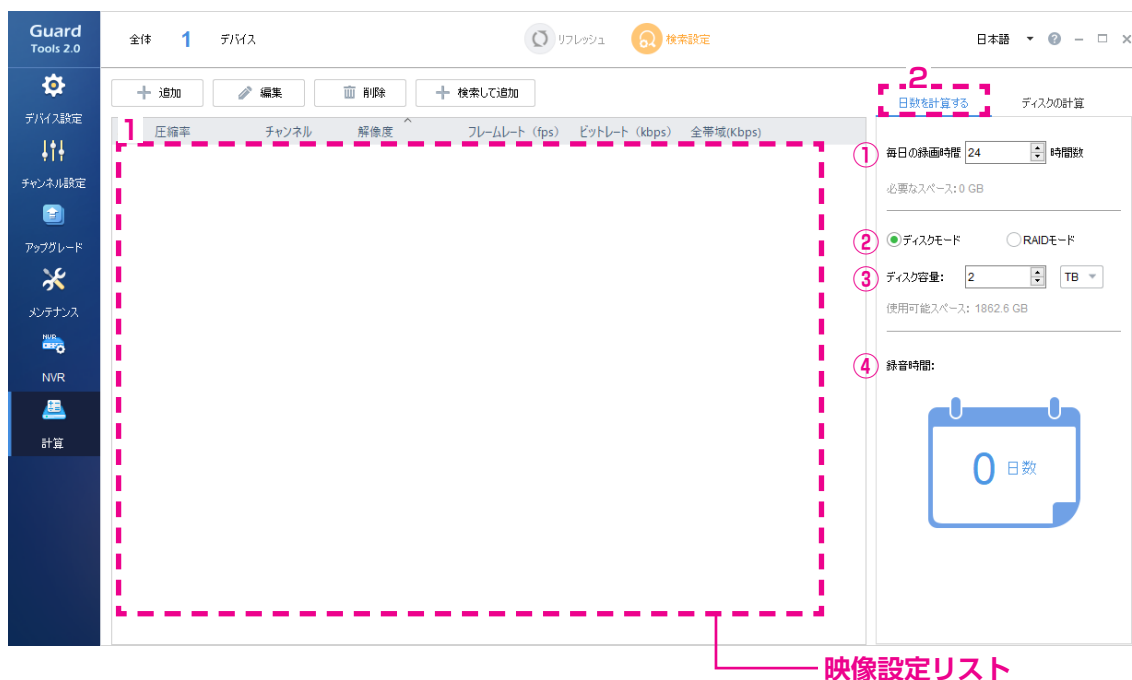
- 1 映像設定リストで、削除したいデバイスにチェックマークを付ける
- 2 操作メニューから【削除】をクリックする
チェックマークを付けていたデバイスが削除されます。

録画可能残日数を計算する

1 映像設定リストで、計算対象にしたい項目にチェックマークを付ける

チェックマークを付けた項目が録画設定になります。選択した設定に基づき、録画残日数を算出します。

2 パネルで「日数を計算する」をクリックする



番号	項目	内容
①	毎日の録画時間	1 日あたりの記録時間を指定します
②	ディスクモード	ディスクモードを設定します
③	ディスク容量	ネットワークレコーダーのディスク容量を入力します
④	録音時間	表示される録画可能日数を確認します

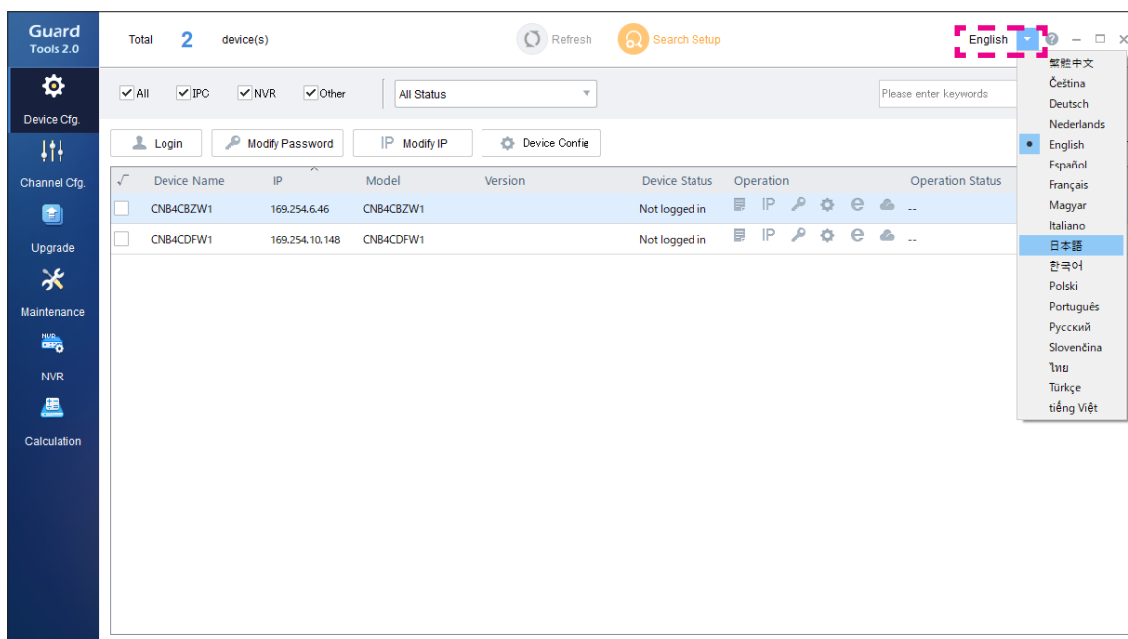
重要

- パネルの「ディスクの計算」はサポート対象外です。
ネットワークレコーダーにて、複数のディスクでのストレージ構成はできません。
- [RAID モード] はサポート対象外です。ネットワークレコーダーで RAID ストレージを構成することはできません。

表示言語を変更する

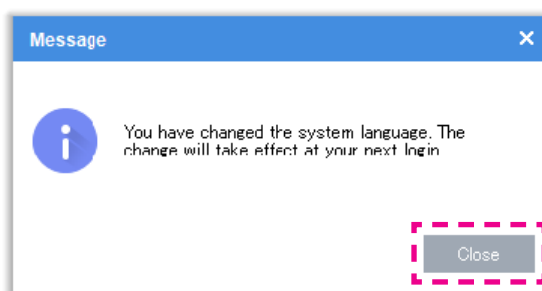
Guard Tools の表示言語を変更する手順を説明します。以下の手順では、初期画面（表示言語が英語）の場合で説明しています。

1 [English] の右にある [▼] をクリックし、表示したい言語をクリックする



2 [Close] をクリックする

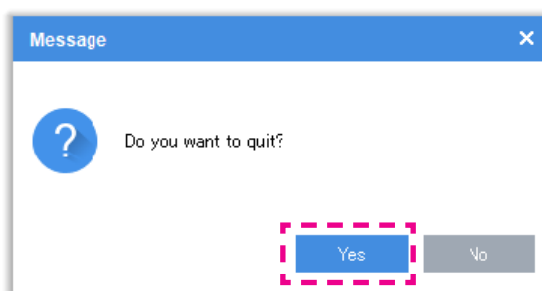
 表示言語によっては [Close] の表示が異なります。



3 Guard Tools の画面右上の × をクリックする

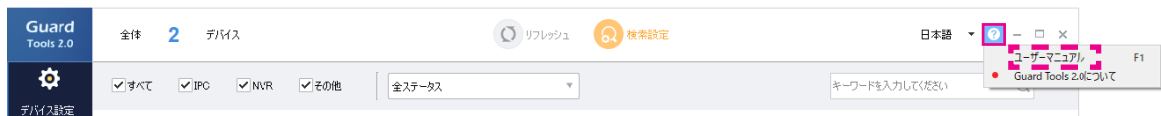
4 [Yes] をクリックする

- 
- 表示言語によっては [Yes] の表示が異なります。
 - 次回起動時には、選択した言語で画面が表示されるようになります。



英語マニュアルを表示する

- 1 画面右上のを順にクリックする
- 2 英語版のユーザマニュアル（PDF）が表示されるので、内容を確認する



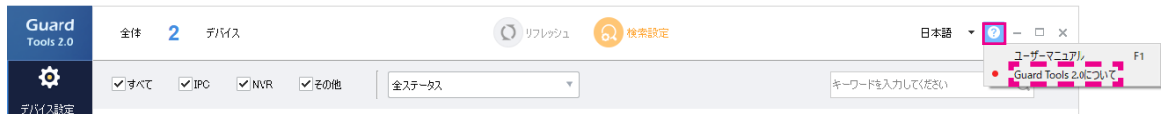
使用するパソコンの IP アドレスを変更する

デバイスの管理画面にアクセスするためには、使用するパソコンの IP アドレスを変更する必要があります。IP アドレスを変更する方法は、下記の URL をご確認ください。

https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=2887

バージョン情報を確認する

- 1 画面右上のを順にクリックする
- 2 バージョン情報が表示されるので、内容を確認する



重要

- ・当画面で Guard Tools をアップデートできますが、サポートの対象外になります。
- ・「インストールする」でダウンロードできるソフトウェアバージョンのみがサポート対象です。

アンインストール

- 1 使用するパソコンのスタートメニューから「設定」をクリックする
- 2 「アプリ」をクリックする
- 3 アプリの一覧から「Guard Tools」をクリックして、「アンインストール」をクリックする
※確認画面が表示されたら、[許可] または [はい] を選択してください。
 - ・アンインストールが始まります。
 - ・アンインストールが完了すると画面が自動で終了します。

用語集

Guard Tools の画面に表示される用語を説明しています。

用語	説明
IPC	ネットワークカメラの略
NVR	ネットワークレコーダーの略
デバイス	Guard Tools で管理するネットワークカメラやネットワークビデオレコーダーなど

困ったときは

●ネットワークカメラのパスワードを忘れた

・販売店にご相談ください。(本体に記載のシリアル番号を、併せてお知らせください)

●IP アドレスが分からないカメラを再接続したい

①「検索設定」画面を開きます。



②検索設定画面で「自動検索」「シリアル番号」にチェックを入れます。



③ 接続しているネットワークカメラ一覧が表示されます。検索窓で、カメラ本体に記載のシリアル番号を入力します。

④ 該当のネットワークカメラの IP アドレスを確認します。



●パソコンの IP アドレスを変更したい

【注意事項】 この方法は既存のネットワーク接続に影響する可能性があります。

社内ネットワークなどで使用している場合は事前に確認してください。

① ネットワーク接続の確認

1. ****Windows + R**** キーを押し、「****ncpa.cpl****」と入力して Enter キーを押す
2. ネットワーク接続一覧が表示される
3. 使用中のネットワークアダプター（通常は「イーサネット」または「Wi-Fi」）を確認

②ネットワークアダプターのプロパティを開く

1. 該当するネットワークアダプターを **** 右クリック ****
2. **** プロパティ **** を選択
3. 「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されたら **** はい **** をクリック

③ TCP/IP プロパティの設定

1. 「** インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)**」 を選択
2. 「** プロパティ **」 ボタンをクリック
3. 「** 詳細設定 **」 ボタンをクリック

④ 追加 IP アドレスの設定

1. 「**IP 設定 **」 タブで 「** 追加 **」 ボタンをクリック
2. 以下の情報を入力：
 - **IP アドレス **: 192.168.1.10 (IP カメラと同じネットワークアドレス)
 - ** サブネットマスク **: 255.255.255.0
3. 「** 追加 **」 ボタンをクリック
4. 「**OK**」 をクリックして設定を保存
5. すべてのダイアログで 「**OK**」 をクリック

⑤ IP アドレスの変更

1. インターネット プロトコル バージョン 4 のプロパティで
2. 「** 次の IP アドレスを使う **」 を選択
3. 以下の情報を入力：
 - **IP アドレス **: 192.168.1.10
 - ** サブネットマスク **: 255.255.255.0
 - ** デフォルトゲートウェイ **: 192.168.1.1 (ルーターの IP アドレス)
4. 「** 次の DNS サーバーのアドレスを使う **」 を選択
5. DNS サーバーアドレスを入力：
 - ** 優先 DNS サーバー **: 8.8.8.8
 - ** 代替 DNS サーバー **: 8.8.4.4
6. 「**OK**」 をクリックして設定を保存

【設定後の確認方法】

ping コマンドでの接続確認

1. **Windows + R** キーで 「**cmd**」 を入力して Enter キーを押す
2. コマンドプロンプトで以下を実行：

...

```
ping 192.168.1.100
```

...

3. 「応答時間 = ○○ ms」 などの応答が返れば接続成功